

大学生活って どんな感じ？

TOPIA がいろんな人に聞いてみた。
もしくは自分で書いてみた。



LGBTQ+支援サークル 東京大学TOPIA
2023 年 受験・新生活応援企画



はじめに 2

冊子の説明 団体紹介 他団体・窓口・情報集紹介 執筆者紹介

奨学金・学費のキホン 【ア】 4

条件 応募方法 必要書類 学費問題 学部生・大学院生のそれぞれの状況

奨学金制度のリアル——問題点と受給までの道のり 8

収入要件・成績要件のおかしさ そもそも学費が高いんだよ 奨学金獲得の実話

大学生の労働のリアル 【ア】 12

アルバイトは労働 東京の塾業界のおかしさ 大学生そもそもバイトすべき？

駒場生の住居事情 【ア】 18

キャンパス周辺の地理 賃貸物件の探し方

サークル・部活について 【ア】 27

探し方 活動の良し悪し 困ったらどうする？ カルトに注意（アンケート内）

学科選び・将来のキホン 【ア】 36

進学選択 大変だったこと 将来の進路

インタビュー とある人の進学選択体験記 41

小論考 産学複合体——受験・就活・能力主義の結託 45

h のqueer でfeminist でanarchist でnonbinary な私設本棚 47

（【ア】 マークのあるところには、アンケート結果がついています）



はじめに

この小冊子は、**国公立大学の受験が終わる時期の人々や、浪人生、高校生、東京大学以外の大学の人たちなど、大学生活のリアルについて何か知りたいことのある人に向けて書かれたものです。**大学生活を始める前によく聞く、輝かしい未来や、楽しそうなライフスタイルだけではなく、**労働や住居、奨学金や学費のリアル**など、あまり紹介されないけど、入学する前に知っておきたいことを知れるよう、有志で作成しました。

ページによっては、右側にアンケート結果を載せています。空いた箇所には、春休みにおすすめの本の選書も載せています……！ここだけでもいいので、読んでみてくださいね。

来年以降もより良い内容のものを作成したいと考えています。もしご興味があれば、TOPIA の新歓活動にもご参加ください。東大生でなくても、また大学生でなくても、興味がある方ならどなたでもご参加いただけます。

団体紹介

わたしたち東京大学 TOPIA は、様々なジェンダー・セクシュアル・ロマンティック・マイノリティが安心して生きられるようなキャンパス・社会を目指して活動する、LGBTQ+支援サークルです。

サークルをちょっと紹介します……当事者・非当事者、学内・学外問わず参加 OK。東大への働きかけを多く行っています。東大以外での活動も◎。一時的／単発の参加も歓迎！読書会も実施中で、3月までの課題本は『トランスジェンダー問題』でした。次は『ジェンダー・トラブル』『ホワイト・フェミニズムを解体する』を予定。また、5月には初の ZINE(タイトル決まってるけどまだ秘密です)の刊行を目指しています！

他団体・窓口・情報集紹介

<学内居場所サークル>

☆UT-topos <http://topos.lolipop.jp/>

当事者かどうか悩んでいる人を含む、LGBTQ+当事者限定の居場所型サークルです。東大以外の学生も多数。ランチ会などの対面イベントを開催したり、Discord 上で通話をしたり、気軽に居られる場を作っています。(TOPIA と topos は活動型と居場所型で分かれ、どちらもが活動しやすいように棲み分けつつ連携しているらしい…！?)

<大学の組織・機関>

☆KOSS (駒場キャンパス SaferSpace) <https://www.utkoss.org/>

女性や性的マイノリティを含む多様な学生のための学術プロジェクトかつセーフスペース。対面開室あり(授業日の午後なら大抵!)。学外公開イベントや対面企画も充実。部屋にはフラッグや気になる本も沢山。

☆東京大学駒場学生相談所 <http://kscc.c.u-tokyo.ac.jp/>

大学生活の問題・悩みの相談対応を行う相談所。駒場は 1 号館 3 階(他キャンパスも有)。コミュニケーションについてのことなど、色々話せます(中の人も活用)。

<情報集>

☆できることガイド in 東京大学

東京大学で当事者が生活するにあたって有用な情報の提供を目的とした雑誌。学籍の氏名変更、体育実技の履修、健康診断の個別受診、だれでもトイレ、相談窓口、支援サークルなど、情報をアップデートしています。英語版もあり。各所で配布されているほか、TOPIA の Web サイトでも公開中。

☆「アライ」になろう！ 自分が経験していない性差別とたたかうためのガイド

2023 年度から配布開始。性差別を受ける当人ではなく「周りの人」には何ができるのか詳しく書きました。カミングアウトなどの相談、授業、サークル・部活、性暴力、性行為の同意など。ある差別の当事者がほかの差別をよく知らないこともあります。当事者・非当事者関わらず全員に読まれてほしい冊子です。本稿執筆時点で制作途中のため、タイトルは仮題。各所配布のほか、TOPIA の Web サイトでも公開します。

☆D&I 動画（学生生活におけるダイバーシティ・インクルージョン動画）

ITC-LMS という学習管理システムからアクセス可能です。「ダイバーシティ」や「インクルージョン」といった言葉の使われ方に完全に賛同するわけではありませんが、TOPIA も制作に参加し、尽力しました。

代表執筆者・編集者紹介

ここでは、自己紹介できる人のみ掲載しています。アンケートへの参加をはじめとして、他にもたくさんの人が参加してくださいました。ありがとうございました！

h 小論考、選書、編集を担当。ノンバイナリー／A ジェンダー／ゲイ／クィア。フェミニスト。選挙に行くアナーキスト。アボリショニスト。ほぼヴィーガン。2022 年 10 月から東京大学 TOPIA で活動。読書会・勉強会の運営を行っており、直近では『トランスジェンダー問題』を扱った。小文字なのは bell hooks の真似。

よたけ(世竹裕介) 脳科学を研究している大学院生。たまに小説も書く。好きなもの 7 選: じゃがいも 🍟、ネズミ 🐭、フェミニズムや障害関連のエッセイ 📖、ポケモン対戦観戦 🎮、屈折語 🇷🇺、ガチのヒトカラ 🗣️、素数(特に 17)。苦手なもの 7 選: 中華あん 🍜、ネコ 🐱、フィクション 📖、宿泊 🏠、膠着語 🇯🇵、雷 ⚡、素因数が 3 つ以上の合成数。

さめ 「部活動・サークルのリアル@東京大学」を担当。東京大学の学部生。ノンバイナリー(A ジェンダー)でフェミニスト。最近「お文具さん」と紙粘土にハマっています。

奨学金・学費のキホン

執筆者: 世竹裕介

アンケート・コメント集

これを読むと、こんなことがわかる……！

- 各種奨学金(JASSO、JASSO 以外)には、どんなものがあるか
- 奨学金の条件、応募方法、必要書類はなにか
- 学部生・大学院生はそれぞれどんな制度を利用できるか
- 学費はどれくらいか、昔と比べてどう変化しているか

日本学生支援機構の奨学金

- 公式サイト(<https://www.jasso.go.jp/>)で詳しい説明がある。
- 大学入学前に高校で申し込むもの(予約型)、進学後に申し込むもの(在学型)、被災や家系の急変に応じて申し込むもの(緊急・応急採用型)がある。
- 給付型、貸与型第一種(無利子)、貸与型第二種(有利子)がある。いずれも、収入要件・成績要件がある場合がある。
- 貸与型は、大学卒業後返済が開始され、毎月一定額が口座から引き落とされる。

奨学金について(日本学生支援機構以外)

- 全国の学生を対象とするものは、「ガクシー」というサイト(<https://gaxi.jp/>)で探すことができる。東京大学の学生に対して特に募集がかかっているものは、以下のような方法で探すことができる。
- 11-2月(在学用)、3-5月(新入生用)に、東大内で情報が共有される。
- 情報の提示場所は、東大ホームページと、アドミニストレーション棟の掲示板。
- メールなどでの告知はほぼないので、希望者は自分でサイトを順次チェックする必要がある。
- 金額は様々だが、筆者の経験では、学部生向けの給付型のものは生活費補助程度(~10万円)が多く、大学院生向けの給付型のものは、都内で一人暮らしがぎりぎりできる(?)くらい(10数万円~20万円)が多い。
- 複数の奨学金を併給できるもの、合計額や給与/貸与に制限があるものがある。

奨学金の種類(学部生/大学院生共通)

- 東大独自の奨学金
 - 性別や分野を限定するもの(女子学部生・理系女子大学院生・光科学の研究をしている院生)が多め。
- 地方自治体からの奨学金
 - 西東京市などの東京の23区外の都市出身者や、他県出身者を対象とした奨学金。

Q1. 学費を下げてほしいか。どのくらいの額だったらいいか。

A1. 25万(年額)。欲を言えば20万。

A1. 下げてほしい。年20万以下だと助かる。

A1. 学部は年12万円!(公立高校と同じくらい)学部卒の価値が、かつての高卒と近くなっているので、このくらいで。大学院は今ままでいいが、博士はアメリカみたいに実質タダ(研究室が支給)にしてほしい。

本紹介 1. ジョアン・C・トロント(岡野八代訳・著)『ケアするのは誰か?』ケア論をベースに新しい民主主義のかたちを論じる。公私二元論解体を論じる岡野さんの論考も非常に興味深い。

- 民間団体の奨学金
 - 企業等からの奨学金。給付型も貸与型もある。募集要件は、経済的困窮者のためのもの、扶養者が死亡した人のためのもの、外国籍の学生のためのもの、成績優秀者のためのもの、起業や国際貢献を志す者を対象とするもの、研究に熱心に取り組んでいる人のためのもの(大学院生向け)など様々。
 - 東大内の応募者の中で内部選考を行い推薦する形のもの、直接応募する形のものがある。前者は、東大のアドミニストレーション棟で書類を提出(郵送可能)する場合も多い。
 - 書類と面接(一部奨学金にて実施)によって決まる。
 - 採用後は、奨学生同士の交流会への参加や、一定期間ごとの学生生活の報告書の提出が義務付けられることが多い。(コロナ禍以降はタダ飯(会食)や宿泊・観光を伴うことも……!)

奨学金(+RA など、金銭的援助を得られるもの)の種類(大学院生)

①東京大学独自の制度

- 国際卓越大学院教育プログラム(WINGS)
 - 東大の特定の研究科の大学院生で、東大内の同じ研究科の大学院に博士課程終了まで所属し続けることを確約している者(=博士課程から他研究科や他大学の研究室に変えるつもりのない人)のための支援制度。他大から東大大学院に進学した人も可。研究科ごとに、応募できるプログラムが異なる。
 - 希望する進路は、明確に説明できるのであれば何でもよく、大学教員や研究員を目指す人だけに限定されていない。
 - 書類では、卒論の研究結果、修論での研究計画、志望理由、将来のキャリアプランを書く必要があることが多い。面接では、それらについて掘り下げられる他、とっさの対応力などが問われる。
 - 採用後は、プログラムが指定する授業の履修と、進級試験(QE)の受験、授業のTA(教授を補助する仕事)や多学部間での研究発表などが求められる。
 - 支給額は月15-18万円。
 - メリットは、研究者としての実績になること、他分野の人と交流したり、学部生の教育に携わったりする経験を積めること、安定した(奨学金にしては)多額の収入を得られること。
 - デメリットは、プログラム指定の授業やTAで時間が取られ、他の大学院生向け教育プログラム(大学院生向けゼミや若手の会など)に参加しづらくなること、上の支給額だけでは東京都内で一人暮らしをするのが難しいこと、博士で研究室を変えることが難しくなること、学費は免除にならないこと、TA業務では社会保険に加入できないこと。

Q2. 奨学金や学費について思うことを自由に記述してください。いいことでも、わるいことでも、雑談でも可能。

A2. 地方出身者にとって金銭面の心配がハードルになっているとしたら悲しい。教育投資をする親の価値観にも左右されるだろう。進学校に行けたこと自体、特権的なことであり、その意味で自分はマジョリティだった。

A2. 自分の親は学費を惜しまない人だったため、学費問題について考える機会がなかったが、他の人の話を聞いて、深刻な問題だと気づいた。金銭面で苦しまずに済む人は、なかなか学費問題に関心を持つ機会がなく、非当事者の中で問題として取り上げられにくいのかもかもしれない。

②国の制度

- 学振 DC1・DC2
 - DC1 は修士 2 年の 4-5 月に、DC2 は博士在学中に書類を提出して応募できる。全国からあらゆる学問分野の人が提出する。倍率は 3 倍ほど。
 - 学会発表や論文投稿など、わかりやすい実績が評価されやすい(ない場合の採用例も多いが)。
 - 支給額は月 20 万円(奨学金ではないので課税対象。ここから所得税や保険料が引かれる)。

③民間の制度

- 各種育英会の奨学金
 - 応募時期は学部 4 年次-在学中まで様々。研究への抱負(学部時)や実績(大学院在学中)を書類にまとめて提出する。両親の収入の要件はない場合が多い。書類審査合格後、面接がある場合が多い。
 - 採用後は、交流会や研究発表会の参加、学生生活の報告書の提出などが義務付けられる。
 - 支給額は奨学金により様々だが、月 20 万円を超えない(非課税なので額面通りの額がもらえる)。

④その他(研究所などの制度)……大学ではなく、研究所で研究して博士論文を書きたい人向けに、各種研究所で非常勤の研究員や、教育の補助にかかわる業務としての給料が得られる制度がある。以下一例。

- 理化学研究所
 - 月税込み 20 万円 + 交通費
 - <https://www.riken.jp/careers/programs/jra/>
- 国立障害者リハビリテーションセンター 流動研究員
 - 月税込み約 22 万円 + 社会保険 + 交通費
 - <http://www.rehab.go.jp/ri/boshuj/ryudo-2023/>

必要となることが多い書類(学部・大学院共通)

- 申請書
 - 戸籍上の住所や氏名、性別(!)、所属学科、両親の仕事や年収、一人暮らしか否かなど。証明写真(1 回 800 円、スーツ着用)がほぼ必須。
- 志望理由書
 - 学業への熱意や、経済状況の説明、将来のキャリアプランなどを書く必要がある。
- 両親の年収を証明するもの

A2. 家庭の収入要件の存在意義が謎。あと貸与の奨学金が借金ですって過度に脅すのやめてほしい。そのせいで、自宅から通える国立か、給付奨学金しか選択肢がないと親に言われた。

A2. 兄弟が多いので、親の収入の割に裕福に暮らせない。奨学金はもう少しそこに考慮してほしい。

本紹介 2. 高島鈴『布団の中から蜂起せよ』アナーキズムとフェミニズムが軸。p.169 からの「ゆるい合意で～」が一番好き。「愛」や「文化」という曖昧かつ重厚なもので全てを丸め込もうとする暴力に、どのように抗うか。わたしの A ロマンティックネス の一部。アナーキズムを教えてくれた本でもある。

- 課税証明書など。地方出身者は、地元にいる両親に郵送してもらう必要がある。当然、郵送を頼めるような関係性も必要。
- 在学証明書
 - アドミンISTRATION棟の自動受付機で発行できる。
- 成績証明書
 - 1年生の場合は高校の内申書、2年生以降は大学の成績証明書。
 - アドミンISTRATION棟の自動受付機で発行できる。
 - 奨学金によっては成績の要件がある。それも授業の難易度などは考慮されず、履修した授業の成績に「優」や「優上」(多くの場合、履修者のうち上位3割に入る成績)が多いことが要求される。
- 住民票
 - 出身地方独自の奨学金の場合。地方出身者は、地元にいる両親に郵送してもらう必要が……(以下略)。
- 推薦書
 - 卒業研究開始以降は指導教員から、以前は、履修している語学の演習やゼミの先生などから書いていただく必要がある。多くの場合、申請者自身の下書きを書き、指導教員がそれに応じて清書する形を取る。
- 国籍を証明する書類
 - パスポート、在留カードなど。

東京大学学費(国立大学共通)

- 入学金:282,000円
 - 修士・博士への進学時にも毎回必要。
- 授業料: 535,800円(学部・修士), 520,800円(博士), 804,000円(法科大学院)
- 1975年には、国立大学の学費は年間3万6000円だったが、現在は53万5800円と、大きく増加している(1)。対して、世帯収入は1994年から緩やかに減少しているため(2)、学費が世帯ごとの支出に占める割合は非常に高くなっている。

(1)https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/icsFiles/afieldfile/2017/12/26/1399613_03.pdf

(2)<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/17/backdata/01-02-01-01.html>

本紹介 3. 吉野鞆
『誰かの理想を生きられはしない』医療や法律が強大な権威者・権力者となって、トランスの身体の自律性を奪い続けていることは各国で共通している。特に日本では、2003年特例法の成立を通じていわゆるGID(性同一性障害)規範ができた。日本のGID規範について知るのに適した本。

本紹介 4. 和泉真澄・坂下史子・土屋和代・三牧聖子・吉原真里『私たちが声を上げるとき』女性やノンバイナリーのリーダーや発言者たちが、アメリカの社会や政治を糾弾するため、どのように声を上げてきたのか。あるいは、その声が聞かれなかったのか。インターセクショナルリティについて学びたい人も、おすすめ。

奨学金制度のリアル——問題点と受給までの道のり

執筆者:世竹裕介

奨学金制度の辛いところ(概要)

①収入要件があること

- 学部の給付奨学金では、扶養者の世帯年収が400万円(経済的困窮者向け)または800万円(成績要件もあるもの)以下であることが応募の要件となることが多い。こうした基準は、世帯年収が高いものの、兄弟がたくさんいたり、難病などで高額な医療費を払っていたり、借金を返済していたりして、手取りの収入のうち、可処分所得(自由に使い道を考えられるお金)が少ないために困窮している人を対象としていない。
- 親の収入が一時的に上昇したり、受給者本人がアルバイトで多く稼いだりして、収入要件の上限を超えてしまう場合もある。収入は毎年必ず一定というわけではないのに、一定以上の収入のある人を一律に除外してしまうのはいかなものか。

②成績要件があること

- 本来、大学は、**必要な単位を落としさえしなければ、全部の成績が「可」(ギリギリ合格)でも卒業を許されるシステム**である。それは、経済的困窮者であろうが、経済的に余裕のある家庭の者であろうが、同じであるべきである。にもかかわらず、**奨学金をもらった者だけが、「優」や「優上」(上位の成績)をなるべく全部の科目で目指すことを強えられるのは不公平**である。
- 大学の成績は、高校ほど一貫した基準では定められておらず、授業の負担やテストの採点が厳しめの先生もいる(その中に、学生を鍛えようという志を持った人もいる)。一方で、理解度にかかわらずいい成績を与えるような先生もいる。奨学金の成績要件は、前者のような単位取得が困難だが力がつく授業を履修することを妨げてしまわないか。

(以下は大学院について)

- 奨学金に受かるかどうかは、学部時代の研究実績が大きく関わっている。学部時代に良い研究ができるかは、本人の実力(頭がいいとかテキパキ仕事ができるとかスキルがあるとか)よりも、指導教員との人間関係や、指導教員から与えられた研究テーマの質に依存する場合が多い。ここでいう指導教員との相性とは、単にパワハラや長時間労働を強くないかというだけではなく、学部四年生の1年間で確実にいい結果がまとまりそうなテーマをもらえるか、ということと関係している。つまり、**本人の興味やチャレンジ精神を尊重する先生(すごく貴重な存在だが)は、そうした奨学金への採用においては逆効果になってしまう。**

③そもそも学費が高すぎること

- そもそも学費が、月額に直すと 5 万円弱と高く、学部生の奨学金でよくある額(月 5-8 万円)は、学費と書籍代でなくなってしまう。学費が安ければ(月 0-1 万円)、そうした奨学金を生活費に充てられ、仕送りに頼りづらい人、長時間のバイトが困難な人も就学ができるという、本来の奨学金の狙いに沿ったものになりそうなのだが……。

(以下は大学院について)

- 大卒の初任給の平均は約 22 万円(2021 年厚生労働省調べ)だが、修士・博士では、どんなに多くても月 20 万円を超えない奨学金(受ければ)に対して、月ごとに換算すると約 5 万円の学費を払う必要がある。つまり、月 10-15 万円で生活費と家賃を払うように強いられている(無理)。
- つまり、大学院生では、貸与型の奨学金(借金)や給付奨学金(不安定)で得た月 20 万円以下の給料から、社会人にはない月 5 万円の学費を払い、その後生活費や家賃や保険料や学部生時代の奨学金の返済を行わなければならない。当然それは不可能なので、研究の時間を削ってアルバイトをして、かつ、仕送りに依存する必要がある。
- 大学院は、修士・博士を問わず、**研究職のための訓練をする場所である**。企業での研究職では修士号以上の取得が必須であり、大学教員や研究所の研究員になるには博士号取得が原則必須である。それなのに、月 5 万円の学費を負担しないとイケないのはおかしくないか。
- ちなみにアメリカでは、大学院生は教授に雇われている立場なので、学費を免除され、さらに給料も月 20 万円ほど支給される。上記のように大学院が研究者の養成課程としての側面を持っているなら、こうして然るべきではないか。

給付奨学金取得までの道のり(体験記と感想)

○筆者(よたけ)の受験した奨学金(太字が合格)

学部

- ①日本学生支援機構(高校予約型, 貸与型第二種(有利子))
- ②民間団体からの奨学金(給付, 1 年間のみ, 月 5 万円)

大学院(修士)

- ③民間団体からの奨学金 A(給付, 修士月 8 万円, (継続が認められれば)博士月 20 万円)
- ④民間団体からの奨学金 B
- ⑤卓越大学院 A(所属学科のもの, 授業補助などの給与として修士 15 万円, 博士 18 万円)
- ⑥卓越大学院 B(学科横断的なもの, 追加の業務なしで修士 2 年から 18 万円)

以下で, ②, ③, ⑤・⑥について記述する。

②民間団体からの奨学金

- 対象は東京の有名大学の学部生。志望理由書と成績証明書により、成績優秀であるかどうか判断され、採用が決まった。採用後は、一度だけ、会食を交えての交流会があった。
- 当時文三だった僕は、発達障害や精神障害に興味があった。それを学べる学科(心理学系や医学部)が進振り時に要求する成績が高く、かつ理系の勉強の習熟度も要求されたので、文理問わず授業を真面目に受けていた。その結果、興味のある科目以外でもよい点数を取れたので、この奨学金に合格できたと思う。本当は、第2外国語のロシア語以外にもいろいろな第3外国語を履修したり、落単覚悟で数学の授業を取ったりしてみたかったが、そうした挑戦をしなかったことが、奨学金においても結果的に功を奏してしまったのが、複雑な気分だった。
- この奨学金で得た60万円は、親に別口座に貯金してもらい、**修士の半期の授業料+入学金(合わせて70万円強)**に消えた。

③民間団体からの奨学金 A(大学院用)

- 対象は全国の大学院生。志望理由書と面接(大学教員4名が面接官)により、研究能力や、その成果を社会に応用する意欲があるかどうかを判断され、採用が決まった。採用後は、年3回交流会がある(会食や研究発表、宿泊を伴うことがある)。
- 面接後の担当の先生の話によると、文系から理系に変わって、生物学の研究をしながら小説にも取り組んでいること、発達障害という将来への応用性の高いテーマに取り組んでいること、科学技術のアウトリーチにも興味があることなどが採用の決め手になったそうだ。いわゆる性別役割規範などに基づくまともさだけでなく、**学習内容や、学習以外で取り組んでいることの独自性も重要なようだ。また、研究内容が社会にどのように役に立つかということに関するストーリーを、しっかり用意する必要がある(実際の研究内容が実学寄りでなくても)。**
- 交流会を通じて、分野の近い他大学の友達ができたり、研修旅行で行ったことのない観光地に行けたりして嬉しかった。ただ、個人の特性によっては、観光地での騒音や身体的疲労が辛かったり、宿泊で配慮してもらうべきことがあったりと、思わぬ負担がある場合もあると思う(僕も、研修旅行後に疲労がひどく、実験を一部休んだり、思わぬミスをして叱責を受けたりと、交流会があることのデメリットを感じたことがあった)。

⑤・⑥卓越大学院 A・B

- 卓越大学院には、プログラムごとに異なる目的がある。Aは、基礎科学的な研究に熱心に取り組み、その成果を非研究者にもわかりやすく伝えられるようなサイエンス・コミュニケーターを養成するためのプログラム。Bは、とある社会問題に関する解決策につながる研究をするために、他分野の人と研究成果を発表しあいながらその社会問題について学ぶ人を養成するためのプログラム。

- A, B ともに、修士の修了要件とは別に、サイエンスコミュニケーションの実習や、社会問題に関する授業を 1 学期 1 コマほど余分に取り取る必要がある(研究しながら取る授業はかなりの負担となる。実習ならなおさら)。そのため、若手の会や外部研究所のセミナーなど、給与は出ないが論文読解や研究のアイデアを出すトレーニングになるような学習機会に参加しづらくなる。加えて、A は、教養学部の授業補助やシンポジウムの開催など、アルバイト(RA)の負担も課せられる。
- A・B ともに、卒論の研究結果のまとめと、修士以降の研究計画、キャリアプランを書類で書き、面接でアピールする。卒論のまとめは、不慣れな状態で自分で研究テーマを作ったうえ、結果がグダグダだったのでうまくまとめられなかった。それを自分の能力不足の正と思っていたが、研究室によっては、申請書に書きやすいような、先生の研究に近いテーマを卒論でさせ、申請書の書き方も指示することもあるので、**本人の能力以外の部分が採用にかかわっている。**
- A の面接では、サイエンスコミュニケーションに具体的にどのように携わりたいか、修士での研究テーマを、企業などでヒトを使った臨床試験として行うのではなく、所属する研究室でネズミを使って行う意義は何か、などを問われた。A では、文系から理系学部へ変わったことで、多様な視点(理科的な知識に不慣れな人も含む)を踏まえて研究内容を伝えられること、文章をまとめるのが特異なことなどを伝えたが、面接官の試すような質問(「あなたがやらなくてもいいのではないか/飛躍でもいいので、研究成果がどのように社会に応用されるかを簡潔に言うこと)にうまく答えられなかった。採用された人も全員がうまく答えられたわけではないが、自分はサイエンスコミュニケーションに向いていないのではないかと……と良くも悪くも気づききっかけになった。
- B の面接では、研究内容について好意的なコメントをされるだけで終わった。
- 結果は両方とも不合格だった。特に A は、③と併給する(ことで合計 23 万円もらえる)ことで大学院から自活できる！ と親に言っていたこと、学部時代に、コロナ禍や理転の不安など、多くの理由で精神的に不安定だったことから、僕は愚かにも、「**卓越にさえ受かれば、経済的にも能力的にも「まともな院生」になれる**」と、**制度に妄信的なまでにすがっていた(※奨学金はそんな魔法のような制度ではありません)**。結果、10 月以降に、研究がうまくいったり別のゼミで中核的な役割を持ったりして自信をつけるまで、自信なさげな態度を取り続けていた。
- 結果として、卓越に受からなかったことで、自分の研究したいテーマについて、今の研究室よりも、自分の得意な部分を活かせるような研究手法で取り組める研究室を他大学に見つけることができた。また、外部の研究所が主催するセミナーで、英語でのコミュニケーション能力や、論文読解能力や、プレゼンスキルなど、卓越大学院で養成されるものに近い能力を(無料で)磨くことができた。結果オーライだというもの、卓越が僕に与えた精神的なダメージは大きかったと思う。

大学生の労働のリアル

執筆者:Y

こんにちは。大学生三年目のYです。2020年に入学した私が今まで経験してきたアルバイトのことと、「労働」についての考え方、学生生活との関係について、ちょっとお話しするのでお付き合いください。見出しをつけているので、気になるところから読んでね。

2020年 休学、コンビニ、塾、ファストフード店、家庭教師

2020年入学というと、コロナ禍初めての入学の代。私は3月の終盤に上京し、三鷹寮に入って生活を始めました。三鷹寮は寮費が安く、設備もあるものを使えるので初期負担がほとんどない点が魅力だけど、駅からすげー遠いし、部屋も狭いし、正直ずっと住み続けたいと思う環境じゃなかった。コロナ禍で非常にストレスフルな生活(誰にも会えず…)だったことも加わって、地元に戻って休学することを決めた。

地元に戻って最初に始めたのは、実家の近くのコンビニ L でのアルバイト。昼 4 時間から始めました。それとほぼ同時期に、地元の個別指導塾 K でも働き始めました。休学中の身で、学生という身分は使える一方で時間はあるから、案外アルバイトには選択肢がありました。

扶養内で働ける金額はその頃も今と変わらず、年 103 万円まで。12 ヶ月で割ると約 8 万円で、これを超えると毎月徴収される所得税がかかり、年 103 万を結果的に下回った場合には確定申告で還付を受けることができます。私の場合は、アルバイトを 6 月から始めたため、一ヶ月に 17 万円程度は稼いでも構わない計算でした。なので、9 月からはもう一つ、ファストフード店 M での深夜バイトも始めました。結果的に、一番忙しい日には、13 時~17 時でコンビニ、18 時~22 時で塾、23 時~5 時でファストフード店、というシフトをこなしていました。一番多い月で、月 200 時間以上働いていたと記憶しています。

もちろんこの生活は普通に体を壊すか心を壊すかするので、3 ヶ月くらいしてファストフード店を、年が明けてコンビニを辞めました。でも、これらを辞めた時には、アルバイトという労働で直面する職場環境の問題も大きくありました。私は、アルバイトを「労働」という言葉で捉えることがとても重要だと思っていますが、そう思うようになっていったのもこの時期です。

アンケート・コメント集

Q3. 年間いくら稼ぐか(カッコ内人数)

A3.100 万円くらい?(2)/200~300(1)/90 万円前後(塾講)(1)/およそ 40 万円(1)/20-30 万円(2)

Q4. 自力で稼がないといけない金額

(月): A4. 8 万円(1)/50000(1)/4 万円(1)/2-3 万円(1)

Q5. 時給(円、複数回答可)

A5. だいたい 1200 円, 塾バイトは 3500 円(授業時間のみ時給が発生)/1000~5000/雑貨店 1100/h, 個別塾 1300/h, 集団塾 3000/h/2000 円+年 4 回の特別報酬(各 5000 円程度)/塾・採点 1800-2000, 学内バイト 1000-1500, MRI 実験バイト 2000, 学外の事務 1500

どのバイトにもよくない点がありました。

コンビニ L は、まず人が圧倒的に足りなかった。人が「常時」足りないということは往々にして運営側に問題があることのサインでしょう。例えば、雇われ店長があまり真面目な人ではなく、機嫌を損なうと怒り出す上に客や設備にも当たり散らかす顛末でした。賃金は最低賃金(800 円台です)であり、80 歳を超えたオーナーはアルバイトを「養ってやっている」という感覚で典型的な家父長的振る舞いをコンビニまで持ち込む人間。年末年始が近づいて、いよいよ人が全く足りなくなってしまう時期のこと。店長も仕事を放棄し始めて、バイトによく入っているメンバーで精算や発注の業務などもやるようになりましたが、それでも給料が店長には店長給が支払われるのに、バイトである私たちの賃金は最低賃金とはおかしくないか、そもそも人が足りないのは賃金がこれほど安く、バイトを駒のように使ってるせいではないか、そう詰め寄ったことがあります。禁煙なのに店長が平気でタバコを吸う暗いバックルーム、店長が蹴飛ばしたダンボールの横で。今思えば最悪だけど、その時はおかしいと思うのにも労力と知識と果てしない忍耐が必要だったのだと思います。でも、「バイトは労働」だって考えてたとしたら、ちょっと見える景色が変わりませんか？

ファストフード店 M は、お店に来る客層に問題があった。深夜の時間でドライブスルーのみの営業をしている店舗でしたが、24 時を回ると働き手は 5 人、4 人と減っていき、2 時にはマネージャーと、厨房一人と、カウンター私一人で計 3 人になる、しかも実は全員アルバイトという世界です。M には社員はほとんどいません。何がスマイルだよ。それでも、他のバイト先よりは待遇は良かったし、最低賃金が 800 円台の世界で、東京で夜勤をするのと変わらないくらいの賃金だった点は良かった。良かったけど、それはむしろ文句が言いにくくなるような感覚を抱かせるものでもあって、葛藤しました。でもここでも「バイトは労働」！ 賃金は労働に対して支払われるものであり、「他より高く払ってるんだから環境が悪くても我慢しろ」的な横暴さは伴ってはならないのです。賃金は賃金の話として独立させるべき。

塾 K は、今思うと労働環境としては悪くなかったように思います。それは東京の塾の環境が正直ガチでヤバいから(後述)。実際は別に取り立てて K もいいところではなかった。時給は授業給 1400 円・事務給最低賃金で、一度に最大 3 人の生徒を見るのでなかなか忙しいし、よくあることかもしれないけど、塾長の生徒に対する接し方にちょっと文句があったり…など。何より、スーツ着るのは普通にしんどかったと思う。まあ、でも一番長く続けました。一年三ヶ月くらい。

Q5.時給(続き)

A5. 1400 円程度だったと思う。／1700 円(学内バイト), 1072 円(個別指導塾)

Q6. アルバイトやインターンなどの内容、体験談(違和感含む)を教えてください。

A6. 完全に「(シスヘテロ)男/女」しかない世界線。性別を明示しなくても、見た目や名前から勝手に判断される。例えば、イベントスタッフでは、接客に、「雰囲気をよくするため」に「女性」を割り振る。教育バイトやインターンで、「東大女子が欲しいから入って！」「女子っぽくない髪型のかっこいい子が入ってくれてうれしい！」と言われたり、男女異なる礼儀作法を教えられたりする。

あとは、給料が手渡しでもらえるのがありがたくて、**家庭教師も 2 件**持っていました。Web 上の個人契約家庭教師登録サイトに片っ端から登録して(今でもしていて、サイトのリスト作ってます。8 サイトくらいある)、特に 2020 年はかなり需要のあった年だったので、割とすぐ見つけることができました。でも、そもそも「家庭」というものに忌避感がある人なので、うまく続かなかったな。

2021 年 東京の塾 T、大型量販店レジ

さて、2021 年になって、やっと東京へ戻りました。この時期になると対面授業もある程度増えてきて、以前との違いを感じるように。何かといえば、2020 年度は全てがオンライン授業だったから、授業時間帯はずっと家において、そこからすぐバイトに行くということが可能だったし、課題も休み時間に終わらせられたわけです。でも上京してみると、なかなかバイトの時間を作りにくいことがわかりました。大学生活とバイトはそもそも時間帯が合わない。履修組むまでシフトも組めないしね。

時間に比して稼ぎがいいのはやっぱり教育系だから、地元の時と同じように塾講師のバイトを探るところから始めました。同じクラスの人に教えてもらった**個別指導塾 T**へ面接を受けに行き、驚いたのは、**研修動画 2 時間くらいを無給で見せられたこと**。え、この塾で働いてる大学生(東大生多い)みんなこれいいと思ってんの……? っていうか動画の内容自体も「大きな声で挨拶を」とか、塾講師を通じて自分自身も成長をとか、とにかく私にとっては全部が気持ち悪く感じられてしまった。そんなわけで、研修動画だけ見てやっぱりやめますって言った。傘だけ忘れて帰ってきました。

結局行き着いたのは**大型量販店 Q** のレジ。24 時間じゃないにしても夜遅く～早朝まで空いている店舗(コンビニや牛丼・居酒屋以外ならスーパー系が多い)はやっぱりシフトが合わせやすくある程度楽だった。だって、**大学が 5 限まである日は普通に 6 時半まで授業あって、大体のお店って 10 時には閉まるんだから、そんなアルバイトなんかできんやん**。

Q は時給 1200 円とかで、22 時以降はもちろん深夜割増 1.25 倍なので 1500 円になる。学校が 5 限までの日は 8 時から 12 時で入ってそれが週 3 回くらい。あとは土日片方 6 時間はいる、みたいな感じでこなしていた。でも、ここも環境はあまり良くなかった。一つは、お客さんから質問を受けたりした時などに使うトランシーバーがめっちゃ使いにくくて、使うの上手いかなかったらなんか陰湿な空気出される感じ。それだけじゃなくて、覚えなきゃいけないこといっぱいあるくせに一つも文字になってないし、教わる人によってやり方が違うから、板挟みになってバイト

アンケート・コメント集

Q6. アルバイトやインターンなどの内容、体験談(違和感含む)を教えてください。(続き)

A6. シンポジウム補助(報告書作成)で、もともと得意だった、文章作成の技術を磨くのに役立った。担当の先生からも頼りにしていると言われ、自信になった。家庭教師:では、不登校の生徒のカウンセリングまで要求され、時給倍にしろと思った。片道 1 時間かかる場所ばかりで辛かった。辞書アプリの文章作成バイト(ベンチャー企業)では、僕は、休憩時の社員さん(男性 3 人)とバイト全員で食べるランチで、うまく話を合わせることができなかった。そのためか、働いて半年後に社長に呼び出され、excel の非常に大きい行番号のシートに死ぬと書いた件を注意された。(続)

がストレスを受ける構図。間違ったら怒られるけど、そもそもちゃんと教わってないから仕方ないんですが。もう一つは 50 代くらいのよくわからないけど上の方のポジションにいそうな人が、勝手に肩とか触ってくるから嫌だった。私は男性的に見える人なんだけど、この世の中で男性から男性として見られるということは、気安く体を触られるということだから。最悪だよ。ここは結局シフトを飛ばして辞めた(ちゃんと退職の手続きはして、飛ばしてから 2 週間はシフトを消化した……つらかった)。もちろんシフトを飛ばしてる最中頭から離れるわけなんてなくて、ずっと家で布団にくるまってビクビクしてたし、なんなら家までバイト先の人来てめっちゃ怖かった。

というか、いろんな仕事に言えるけど、そろそろレジは座ってできる仕事にしてくれないかな？

2022 年 インターン、東京の塾2、事務、教育メンター

量販店を辞めるという時期に知り合いからインターンに声がかかって、そちらに勤め始めることになった。インターンは今でも親しい人が行っているところだし詳しくは言えないけど、でも正直、賃金の条件で言えば最悪だった。東京の塾の環境が労働環境として普通に違法なレベルでおかしいことと通底していると思うけど、そこで働く人が文句を言わないからまかり通るのか、はたまたトップ陣に人権意識や知識がまったくないのか、少なくとも片方だとは思う。具体的に言えば、業務委託契約で時給制ではなく、月の稼働時間やランクによって固定給が支払われる仕組みだったのだけど、普通に最低賃金を大きく下回るようなところが多かった。そのくせ求められる業務はハードなものが多いわけなので、これで会社の理念とか言われても知らんがな、という気持ちだった。そういう内心が募りに募っていて、時々直接陳情したりしていたけど、トップの人たちには全然伝わらなかった。

私は自己実現とか夢とかそういうこと以前にお金を稼がなきゃ生きていけないんだよ。会社のビジョンとかそういうのもわかるけど、インターンだって労働なんだよ。最低賃金はインターンにも適用されなきゃおかしいんだよ。言ってることなんてわからないのかな。

インターンの途中から、どうせ辞めるということは直感していた(というより、私は辞めることについて考え始めたら絶対いつかそちらに転んでしまうタイプ)し、賃金が足りる様子もなかったの、近くにあった完全一对一の個別指導塾に勤めることにした。単純に求人の雰囲気良かったので行ってみたが、ここは職場の雰囲気は本当に良かった。ただモヤモヤしたのは、授業と授業の間の休み時間が 10 分あ

アンケート・コメント集

その後、契約更新を取り消された。そうしたことを行う技術は自分にはなかったの、自分にはなかったの、こじつけの理由での解雇だと思う。遅刻などもあったのに、なぜそっちのほうを咎めず、わざわざ理由をでっち上げたのか。理不尽だった。

A6. 雇用契約書を交わしコピーを取り、時給や昇給、交通費支給などの規則が守られているかをちゃんと給与明細をみて確認すること。バイト先によっては労働管理が適当なところがある。また、確定申告をやってくれないバイト先の場合や、掛け持ちをしている場合は、2 月から 3 月ごろに自分でやらなければならない。

り、実質そこも業務を行うことになるのに、給与は授業給しか払われないこと。一ヶ月に一回月毎のレポートをメールで提出しなくてはならないのに、それも無給であること。

でも、他の大手の塾の先生なんかだと、予習を無給で数時間やることなどザラにあると聞いて、私は世界に絶望したよ。塾産業って、生徒を属性や経済状況、能力によって序列化し、資本主義経済へ強制的に組み込む装置であるってだけで嫌なのに、そこでアルバイトとして働いている大学生まで飼い慣らすなんて。塾で働く大学生は、それまでもそこで働いてた先輩たちが何にも文句を言わず無給で働いているのを見て、というかそれに肌で慣れていって、おかしいと思うきっかけも持たず、見かけだけの高給に騙されて労働者としての権利をどんどん剥奪されていくんだよ。見てられない。それでも、このバイトは1年やった。ほぼシフトは週一回とかだったし、全然稼げなかったんだけど。

インターンを正式に辞めた6月からは、これまで手をつけていなかった高給寄りのバイトとして、不動産系の事務バイトに手を出すことにした。オフィスワークはフルタイムの求人が多いけど、業種によってはアルバイトを募集していることもあり、学生の場合は勤務時間まで確認して応募するのがおすすめだと思う。このバイト先も、悪い場所じゃなかったんだけど、私は結局時間が合わなくて辞めてしまった。オフィスが表参道にあって、最初の方に連れて行かれたランチがちょっとお高い感じだったのも受け付けなかったし。

その事務バイトを辞めたのが秋学期が始まる頃で、流石にバイトが週一回の塾以外にない状況はヤバいと思っていた。現に、過去一年で貯金がガツと減ってしまっていた。あまり働けていなかったせいもあるし、何かと出費がかさんでしまったせいでもあると思う。そこで、友人がやっていた某T会のメンターを始めた。これも、事前に聞いていた話と違って、授業が開催されない月間などがあり、継続して安定した収入がほしい人にはあまり向かないという印象だった。そもそも、時間帯も早めかつ短め(16時ごろ~19時ごろ)だったので、あんまり稼げなかった。それに、私自身この頃から急に「男性」であることが耐えられなくなってきた時期だったので、単純にスーツが嫌になったということもあった。あ、「男性から男性として見られると体を触られる現象」、ここでも起きてすごい嫌な思いをしました。

2023年 単発バイトに手を染める、教材作成

その後しばらくはバイトをあまりせず、ゆっくりと自分を労る生活をしていましたが、さすがに働かないと命が尽きるかもというところまで貯金が減ってしまった

アンケート・コメント集

本紹介 5. ベル・フックス(堀田碧訳)『フェミニズムはみんなのもの』第二波フェミニズムと呼ばれる潮流のいいところが詰まった本。コンシャスネス・レイジング、身体の自律性、美、階級闘争、人種、暴力、男らしさ、育児、結婚とパートナー関係、レズビアン、スピリチュアリティなど。

本紹介 6. チョン・セラ(斎藤真理子訳)『フィフティ・ピープル』韓国文学の面白い点は、言葉や人々の雰囲気は決して日本と離れていないのに、社会や政治の変化が早くて、文学にもそれが表れていること。資本主義や権威主義、ミソジニーや暴力といった社会全体の災害に対して、どのように連帯するか。文学でしか描けないものがここにある、と強く感じました。

(2020 年にあれだけ働いて貯めたのに、東京って怖い)ので、バイトを再度始めた。今度は、時給もなかなかいい**教材作成系のアルバイト**で、職場が少しだけ遠いと、「くん」呼びされることだけが難点だけど、今の所続けられているし、時間帯が遅くまでやっているのありがたい。

また、今までまったくやっていなかったけど、**単発バイトの派遣会社やアプリ**にも登録して、働き始めることにした。バイトの予定が先まで詰まっていると絶望してしまうタイプなので、前日などにこれから働く！といきなり決めたりする方が向いているんだと思う。コンビニ経験を活かして、日払いで給料をくれる近所のローソンで働いてみたりしました。まあ、派遣は本当に色々あるね、という感じがする。

まとめ

こうやって書いてみると、いろんなバイトをしてきたな……と思います。嫌味じゃなく、本気で思うのは、世の中にある待遇のいい仕事は、お金のいる人たちの間で、人づてに紹介されたりして回っているのだということ。塾講師がその塾の出身者を採用するとか、そういうのも似ていると思う。何も知らない東京で求人サイトからバイトを探して……ってやる人にとって、アルバイトの世界はわけがわからないところからスタートするし、それと大学生活の世界はあまりに噛み合わなくて、時間も労力も割き切れない。インターンだってそうです。

とにかく原則として、「**バイトだって労働だ**」ということ、「**大学生のバイトは時間帯を重視して選ぶべし**」ということ、そして何より、「**そもそも大学生がバイトしなきゃならないような経済的状況に多くの人が追い込まれていることがおかしい**」と、しつつく認識しておくことが大事です。学費がどんどん高くなってきた時代、非正規労働者なんて枠も増え、「自己実現」の名目でいいように利用されるようになってきた時代、それは思ったよりも最近の出来事で、**大学生はそれに知らず知らずのうちに取り込まれているのだから**。

アンケート・コメント集

本紹介 7. 高井ゆと里『ハイデガー 世界内存在を生きる』

人生の中でも一番くらい良かった本。『存在と時間』の説明としても、今までどのどんな入門書よりも読みやすいし、説明の中に自然とフェミニスト的・ノンバイナリー的・トランスジェンダー的な記述が含まれているのが素晴らしい。

本紹介 8. 竹村和子『愛について』

伝説の書。異性愛主義と植民地主義の結託や、母と娘の絆の喪失について。好きな文を引用。「女同志の愛は、異性愛主義の言語によって当事者の手から引き離され、男の覗き見視的な視線によって植民化されて、性差別の言語のなかに取り込まれていくのである」(78)。亡くなってしまったのが非常に悲しいけど、理論は最良のエンパワメント。

駒場生の住居事情

執筆者:Y

入学が決まった新生はただでさえ忙しい。それなのに、地方から上京するとか、一人で生活を始めるなどという仕事がついてくると、それはもうわけがわからなくなる。生協の出資はどうするのかとか、パソコンは何買えばいいのかとか、そういうこともわからない中で、水面下ではもっと大きな仕事が動いている——そう、住まい探し。

東京はもう地方の人にとって憧れる場所ではないかもしれない。東京が全然素晴らしい場所なんかじゃないことは何となくわかっている人も多いと思う。でもそれは、よく見れば(もしかするとよく見なくても)日本じたいがそもそも全然素晴らしい場所なんかじゃないってのと似ている。それでも、東京にある大学に進学する私たちは、少しでも満足できる生活を手に入れなければ——。

とはいっても、周辺についてちょっとイメージを膨らませることも必要だと思うから、最初は駒場周辺の地理について説明して、そのあとで賃貸物件の探し方の話をするよ。好きなところから読んでね。

駒場キャンパス周辺について

さて、このセクションでは、駒場生活を2年ちょっと続けている私が、駒場周辺の地理についてちょっと詳しくに紹介するよ。役に立つ情報があったらいいな。

東大に入学した学生がまず通うことになるのは、目黒区(といっても渋谷区と世田谷区がすぐそこだが)にある駒場キャンパスだ。最寄り(というよりも、キャンパスに直結)の駅は京王井の頭線・駒場東大前。京王電鉄は、新宿から八王子や橋本方面に伸びる京王線と、渋谷から吉祥寺までを結ぶ井の頭線を基本路線とする私鉄で、東大前期課程に通う学生はほぼ使うことになる。私が東京に来てビックリしたのは、私鉄が山ほどあって、それだけじゃなく、それぞれに私鉄名のついたデパートや独自の駅内売店・飲食店があることだったな。

キャンパスの南縁を井の頭線が東西に走っていて、街が分断されている感はあるけれど、一応南側が駒場の商店街ということになっている。ただし、最近飲食店が消失しつつある傾向(マクドナルドが2023年まであったことを知っているのも「昔の世代」証明書になるのかもしれない)。南へ進むと東急田園都市線の池尻大橋で、

アンケート・コメント集

Q7. 一人暮らしでの金銭面の負担や、生活費のやりくりについてコメント(一人暮らしの方のみ)

A7. シェアハウスに引っ越し。両親と交渉して私が出ること減る食費・水道光熱費分の援助を勝ち取ったが、赤字になり、休学してフルタイムで働いて補った。

A7. 交際費や教材費が実家暮らしの人よりも苦しい。「女子学生」支援の物件に住んでいるが、元々の家賃が高い場所が多く、3万の補助があっても高いと感じる。

A1. 自炊が能力的、時間的にできないので、食事は弁当や外食中心で、工夫はしているが4万円台になってしまう。また、下宿先から徒歩圏内にカラオケボックスがあるので、ヒトカラを自制するのが大変。

そこまでの道のりにはこれでもかというほど坂が多くて驚く。電動じゃない自転車だと挫折するか大腿筋が破裂するかになるはずだ。

キャンパスは、コロナ禍から 2 年程度は正門以外が基本的に閉鎖されていたので、そのころに大学生生活を送った人は、駒場から北側に行くということをあまり経験していない人も多いかもしれない。しかし、実は駒場から渋谷に歩いて行くなれば、キャンパスの北側の門から、松濤周辺を通過して道玄坂に出るのが一番早いのです。案外、これを知らずに井の頭線近くの小さな道を頑張って歩く人が多いので、もっと知られてほしい。あとで詳しく話すけど、こちら側にもちらほら賃貸物件を見かけるよ。

渋谷方面

駒場東大前は渋谷から二駅なので、超近い。すなわち、都会である。渋谷は名前の通り谷のような地形をしていて、渋谷駅が一番深いところにあり、北に行くと原宿・代々木(電車だと JR・副都心線方向)、東に行くと宮益坂を上がって表参道・青山(半蔵門線・銀座線)、西に行くと道玄坂を上がって松濤・駒場(井の頭線)、南へ行くと恵比寿・代官山・中目黒(JR・東急東横線)。つまり、どこに行くにしても、渋谷駅から始めるなら上り坂が待っているのだ。

では、渋谷を経由して来れるようなところに住めばいいじゃん、と思うかもしれない。もちろん、山手線沿いや山手線の内側といった都心の地区に、学生が一人暮らしで住むのはなかなか厳しい選択肢であるということは、地方の人でも知っているかもしれない。でも、そういう金銭的なこととか置いておいても、大きな問題がある。**【井の頭線が、遠すぎる！】**のだ。

東京の駅には、同一の駅のように互いにすごく離れているということがたまーに起こる(新宿駅と西武新宿駅など。新宿三丁目の方がなんならちょっと近いやんみたい)。渋谷は悪質だ。先に書いたように、渋谷は谷底なので、**地下鉄であるはずの銀座線が空中を走っている(ガチ)**みたいなことが普通にある。したがって、線路が平面上では同じ箇所にあっても、上下移動が激しいのだ。しか井の頭線の場合は、平面上でも結構離れている。井の頭線渋谷駅はマークシティという建物になっていて、空いているサブウェイとか入ってて個人的に好き(ただし中の方はヴィーガンで、サブウェイのパンズは乳がちょっと入っててヴィーガン NG なのでかなしいけどたまに妥協する)なんだけど、そのマークシティが他の渋谷駅よりもちょっと西側に位置しているせいで、あの有名なハチ公を見下ろせる以外にいいところがないのだ。渋谷駅に入っている路線の中で一番東側に位置する東横線・副都心線(渋谷駅から

アンケート・コメント集

Q7 続き

A7. 住んでいる学生マンションで朝夕の食事が出る。かつ、親からの家賃・生活費の援助があるので、バイトをしなくてよく助かっている。

Q8. 実家に関する思い(一人暮らし、シェアハウスの方)

A8. 精神が不安定な時に共住者がいるのは助かるが、家族にカミングアウトしていないことによるストレスもある。

A8. 実家だと、料理や掃除をやってもらえるのが嬉しいが、深夜の遊びに行けず、また自室がないので性欲処理が困難。

A8. 一人暮らしをした今だと、実家は快適であったように感じる。

南が東横線で、北が副都心線。会社は違うが直通運転している)から井の頭線に乗り換える時には、最低でも6分はかかるのだ。しかも上下移動も地下の深いところから空中へなのでものすごい。マークシティに入る時に一瞬屋根がなくなるし、エスカレーターがどう考えてもキャパと需要があってないっていう点も、最悪なので覚えておいてください。

下北沢方面

渋谷方面がすごい都会で坂ばかりなのはわかった。じゃあ今度は反対側を見よう。駒場から電車に乗ればものの2,3分で到着するのが下北沢だ。歩いても20分くらいなので、電車賃を浮かせたい人はよく歩いている。ただし道は割とわかりにくい。井の頭線沿いによくあることなのだけど、井の頭線が街を分断しているせいで、道路が意味のわからないところで急に行き止まりになっていたり、東西南北に道が走らなくなったり、近道だと思ったら坂がすごかったり(※坂めっちゃ嫌い)する。

それはともかく下北沢は、聞いたことがある人もいるかもしれないけど、私にとってはやっぱりサブカルチャーの街という気がする。古着や古本のお店が多く、したがってカレーのお店も多い(※この法則は神保町や吉祥寺にも通用する。下北は特にスープカレーのお店が多い)。駅前の広場にはストリートピアノがあるし、バンドマン的な雰囲気の人も多いし、夜は治安がちょっと悪い。路上ライブは禁止されているのかもしれないけどやっている人がいて、面白い。そういうのが下北沢だ。

ちなみに北側と南側でもちょっと雰囲気が違って、南側の方が建物が高くてごちゃごちゃしている印象。ドンキとかある。北側の方には趣味の凝ったお店がたくさんあって、休みの日に行くとガチで混んでいる。そういう感じ。

下北沢は、井の頭線と小田急線が交差していて、小田急線の地下化工事が終了したので、下北周辺はかなり見通しがいい雰囲気になっている。小田急線沿いも、駒場生が住むのを検討する地域の一つだろう。これもあとで詳述。

では、さらに下北沢から先へ。下北の次は新代田という駅。環七という大きな道路と交差すること以外特筆するところは何もない駅のようにも見えるが、駒場に通うならぜひ訪れて欲しいスポットがある。「エトセトラ・ブックス」という出版社兼本屋さんだ。フェミニズム(性——つまりジェンダーやセクシュアリティ——に基づく抑圧や差別や暴力に反対し、たたかう思想や運動のこと)に関連する本が、小説やまんが、学術書、洋書から、ZINE やグッズなどまで幅広く扱われていて、小泉今日子の

アンケート・コメント集

Q9. 実家に関する思い(実家暮らし)

A9. 家賃が浮くのは楽。

A9.カミングアウトしていない状態ではLGBTQ+サークルに参加したり、関連イベントに参加したりするのに工夫が必要なのが難点(私はカミングアウトしているが)。

Q10. 今の居住形態について思うことを自由に記述してください。いいことでも、わるいことでも、雑談でも可能)

A10. (実家暮らし)いい点は、家事の免除、家族から経済面や精神面でのサポートを受けやすいこと、規則正しい生活ができること。悪い点は、ミスジェンダリングや恋愛をしているのかについての質問、(続)

ラジオなんかでも紹介されていたりする。フェミニズムは差別に反対する思想であるとはいえ、内部で差別的な言説が広がっているという状況が気になる人も、詳しい人の中にはもしかしたらいるかもしれない。エトセトラはその点についても、割と安心できる場所だと思う。出版社では、ヴァージニア・ウルフやベル・フックス(実は上のフェミニズムの定義もベル・フックスのものを踏襲している)といった伝説的なフェミニストたちの本を出版・再刊したりしていて、こちらもいいものが揃っている。全国で見てもかなり充実しているフェミニスト本屋さんなので、機会がある時にチェックしてみて。学割(寄付にもとづく)もあるよ。

さらに進む。井の頭線は、渋谷から終点の吉祥寺に行くまでに線路が2本交わっていて、一つ目はもちろん下北沢(小田急線)。もう一つが、下北の後に止まる新代田、東松原の次、明大前で交わる京王線だ。明大前というからには明治大学の和泉キャンパスがある。「花束みたいな恋をした」のロケ地だったな。大学生の恋愛が、いや恋愛ってそもそも、実際何を好きになっているのかよくわからないし、それに振り回されて、青春を美化してしまうこともあるってことを描いた映画だ(※解釈なのでネタバレではない)。ここから先に進むと、永福町、西永福、浜田山……とつづき、やがて吉祥寺まで至る。地方から来る人を中心に、三鷹寮に住むことを検討している人も多いと思うけど、三鷹寮の最寄り駅は一応井の頭線三鷹台駅だ。ただし、駅から離れすぎていて、全然最寄りではない。

賃貸物件の探し方

さて、ここから紹介するのは、賃貸物件の探し方。特に駒場キャンパスに通うとしたら、という前提で話を進めるけど、他のところで探す時にも使える情報があるはずだよ。最後に私自身が経験した部屋探しから、正直なところどれくらいが相場なのか、みたいな話もするよ。

駒場キャンパスに通うなら、いろんな要素に優先順位をつけながら考える必要がある。私が思うに、その中でもメインのものは——①通いやすさ(通学手段、通学時間、駅からの距離)、②家賃(敷金・礼金、フリーレントなど)、③設備・住居条件(広さ、綺麗さ、階数、水回りなど)だろう。正直、このどれもを理想状態にできることはまずないどころか、どれか一つですら満足に叶えられることすらないかもしれない。「自分が頑張るしかないや」「強くならなきゃ」と思うなら、東京の住宅事情が破綻しているのに誰も文句を言っていないのが悪いので、それと同時に、「いやなんでしわ寄せくらってんだよ。いっちょ怒ってやるか～」って気持ちを持つことも大事だよ。

体型や生活習慣についてののからかい、外出や金銭面やネット利用時のプライベートがないこと。例えば、「〇〇な娘/息子」「〇〇な男/女」「妹/弟/兄/姉」という呼び方をされたり、「男性なのに筋肉ない」「女の子のくせに視野が狭い」「そういう男の子/女の子っぽいものばかり見て」「色気ない」「服装が女の子/男の子っぽくない」「足が太い」などのことを言われたりする。

A10.(シェアハウス)いい点は、外出や金銭のやりくりが自由なこと。クーラーのつけっぱなしや、コロナ禍に出歩くことも自由。悪い点は、洗濯機やキッチンなどの設備もシェアするので、他の人と時間がぶつかりやすいこと、壁が薄くて、共住者がうるさくすると集中できないことなど。

①通いやすさ(通学手段、通学時間、駅からの距離)

まず、駒場に通うために賃貸を借りる人は、①駒場周辺に住んで、**徒歩あるいは自転車で通う** ②井の頭線沿いを中心とした地域に住み、**電車で通う** ③寮に入るのどれかを選択することが多いと思う。

③に関しては割愛するとして、まず①について。築年数や設備を気にしなければ、**駒場周辺**にも割と安いアパートがあったりする。電車賃がかからずに通学できたり、電車の時間を気にせずに通えるから楽だという人もいる。一方、駒場特有のデメリットを挙げるとするなら、**買い物はかなり不便だ**ということだ。もちろん、下北や渋谷に出て買い物をするならいいが、スーパーやドラッグストアなどの日常の買い物ができるスポットが周囲にほぼなく、生鮮食品に関しては**まいばすけっと**やコンビニを頼ることになるのは結構しんどいという人もいるかもしれないので、注意が必要だ。

ただし、下北沢～東北沢～代々木上原付近や、池尻大橋周辺など、ものすごく近いわけではないがギリギリ徒歩圏内、あるいは自転車だと余裕といった地域であれば、買い物もしやすい。もちろんこうした地域は高級住宅街として知られている場所も含まれるので、場所によるが、個人的な印象では、**東北沢と笹塚の間**や**池の上**周辺、**池尻大橋と三軒茶屋**から駒場方面に少し入ったあたりなどは、それなりに条件とコスパの良い賃貸物件を割と見かける。

②**電車で通う**、という人がまず候補にするのは、おそらく**井の頭線沿い**だろう。それも、西永福や浜田山あたりまで、遠いと久我山や吉祥寺あたりまでを候補に入れる人が多い印象。明大前より向こう側は、急行停車駅であるかどうかによって確かに駅の大きさになんとなく違いはあるけど、そもそも**駒場が各駅しか停まらない駅**なので、**駒場に行くなら急行停車駅かどうかを気にする必要はあまりない**(それに、各駅停車の列車の方が圧倒的に空いているので、急行を乗り継ぐなんて面倒なことをするよりも各駅に最初から座って乗る人が多いと思う)。

当然渋谷から離れるほど家賃は下がる傾向にあり、大きな駅はある程度家賃が上がるが、実は**明大前**はそれほど家賃が高いわけではなく、むしろ安い物件が多い。これは、駒場を除けば井の頭線沿いでも随一の学生街であるということが影響しているのだろうし、まあ多分街を訪れてみればなんとなくその雰囲気かわかると思う。駅によっては買い物がしづらい(池の上、新代田、東松原など)が、近くの大きな駅で賄えるという人が多い。明大前を超えて、**永福町、西永福、浜田山**あたりに住んでいる人も多い印象。これらの街は、駅周辺の商店街がかなり充実していて、なんと

アンケート・コメント集

A11. (一人暮らし(アパート))家事が時間かかるししんどいです。

コメント(h)

一人暮らしと自立について考えると、**ヴァージニア・ウルフの『自分ひとりの部屋』(A Room of One's Own)**を思い出します。20世紀初のフェミニスト文学者(だと思ふ)。精神を含めて女性が解放されるためには、500ポンドの年収と自分ひとりの部屋が必要だ、と書きます。可視性や承認だけでなく、経済的解放が根本的に重要であることは、例えば**ショーン・フェイ『トランスジェンダー問題』**の要旨とも重なります。わたしたちはみんな潜在的に、「資本主義という恒常的な災害の被災者」(堅田香緒里)です。バイト・就活に明け暮れなくてはならないあなたも。わたしも。

なく明るい雰囲気もあって住みやすい空気を感じる。スーパーチェーン大手のサミットの本社も、この辺り。ちなみに、永福町から向こうは杉並区だ(明大前までは世田谷区)。杉並区といえば、中央線沿いの高円寺～阿佐ヶ谷～荻窪～西荻と風情のある街が中心にあって独特な街だけど、去年初めての革新系女性区長が誕生し、政治の風通しもだんだん良くなってきている印象がある、そんなところだ。

通学にかかる時間が気になるという人は、駒場に近い駅であれば駅からの徒歩分を15分圏内などと長めに設定して検索し、遠目の駅に関しては徒歩分を10分圏内や7分、5分圏内のように検索してみる、というテクニックを使うと良いと思う。

また、乗換えが苦でない場合は、下北沢で小田急線に、あるいは明大前で京王線に乗り換えることも可能だ。電車だけの所要時間で言うと、駒場～下北はものの数分、明大前までも10分かからないが、乗り換えが重なるとこれに乗り換え移動時間+待ち時間がプラスされると考えてほしい。ちなみに、明大前での乗り換えは改札内で済むけど、下北沢は駅が改修されてから一旦改札を出ての乗り換えに変わった。それでも改札が目と鼻の先なので、特段遠いわけではなく、むしろ下北を散歩したい時に歩けるという利点がついてくると考えたら良いかもしれない。

小田急線の場合は、世田谷代田、梅ヶ丘、豪徳寺、経堂、千歳船橋あたりまでが駒場生にも人気があるエリアだと思う。特に経堂や千歳船橋は、駅の規模がそれなりに大きいのに、駅から近い範囲にも安いアパートが結構見つかったりするので、私も幾度となく検討した。

京王線の場合は、新宿方面で笹塚、代田橋、調布方面では下高井戸、桜上水、上北沢、八幡山、芦花公園、千歳烏山あたりまでが一般的なラインだと思われる。特に穴場なのは代田橋と下高井戸。どちらも明大前まで一駅で、その一駅のために電車に乗るのが苦痛なこともある(特に代田橋は本当に電車が全然止まらないので、結局明大前まで歩いた方が早いことが多い)が、とにかく家賃が安い上、駅周辺で大体買い物は揃う。代田橋は方南町側に住めばドンキがあって便利だし、反対側では下北まで徒歩・自転車圏内になるという立地でもある。ただし、割とごちゃごちゃガヤガヤしている地域でもある。ちなみに、代田橋にある沖繩タウン、おすすめ。

でも、小田急線も京王線も、郊外と新宿を結ぶ線なので通勤通学の時間帯は死ぬほど混雑するから、結局乗り換えのいらぬ井の頭線沿いに戻ってくるという人も結構いるよ。

アンケート・コメント集

コメント 2(h)

Yさんが書いていないことで補足したいのが、NHKについて。わたしは大学の授業料減免世帯に該当していて、NHKに届け出ると受信料が免除になっています。通常の撃退方法は知らんけど、一応そういう方法あるよ。あと、最近はチューナーがついていないテレビ(つまり動画再生とかゲームのモニター用)も売られてるみたいですね。そこまでして必要か?って気持ちだけど。金がないじゃ!

本紹介 9. エリス・ヤング(上田勢子訳)『ノンバイナリーがわかる本』表紙が可愛い! ノンバイナリーの人たちについて or 自分について知るにはもってこいの本。ノンバイナリー=反二項対立性に関しては、別の本がいいかも。

また、数が多いわけではないけど、渋谷乗り換えで通学する地域に住むという人もいる。多くは、**本郷キャンパスにある学部学科に進学**することを見越して、という場合が多い。ちなみに私はお金もないくせにたまたま安めのアパートが見つかったので**東横線**沿いに住んだことがあるけど、井の頭線沿いに住むだけでは経験できない”東京”(というより”東急”)を感じることができて、それはそれで良い経験だった。**渋谷が定期券内に入る**、というのもかなりよかったな。事実、そうでもなければ表参道や青山、原宿あたりをバイト探しの候補に積極的に入れるなんてこともできなかったな～と思っている。(その辺りにあるバイト先って、住む世界違ってわりと怖いんですけど)ただし、東急線沿いはやっぱり死ぬほど**物価が高い**。比喻でなくてほんとに人が死ぬというか、死なない人が住むところだと思った。

②家賃(敷金・礼金、フリーレントなど)

そして、やっぱり多くの人が一番気になるのがお金に関することでしょう。一般的に、賃貸物件を借りる際の「初期費用」には、敷金・礼金(家賃一ヶ月分ずつが多い。敷金は修繕費などを引いて返還する用なのでまだわかるとして礼金は本当にわけがわからないシステムだけ)、仲介手数料(仲介会社に支払うもので、一ヶ月分請求されることが多いが、大家と借りる側で本来負担するものなので、駄々を捏ねたら下げてくれるっぽい。0.55ヶ月分が最低とかなんとか。よく知りませんが、一応)、家賃前払い分、火災保険料、鍵交換代、ハウスクリーニング費あたりが含まれ、大体「**家賃の5倍**」かかると言われている。

家賃に連動しないで固定の費用となるのは、保険、鍵、クリーニングあたりの費用だけなので、**家賃が全体の費用を左右する**といっても過言ではない。ちなみに、相場についていろいろ出ている情報を見ても、人それぞれ使えるお金の状況は異なる(例えば女子学生用の補助金を受けているとか、親からある程度補助が出るなど、さまざまな状況があるだろう)のであまり参考にならないと思うが、**7万円前後の部屋**が一般的なはずだ。条件が悪い部屋でも大丈夫だという人は、6万円台や5万円台に下げることが可能で、水回りが元号二つくらい前というところまで妥協すれば4万円台の部屋に辿り着くこともできる。それも場合によっては悪くない。

また、これも物件や大家さんの雰囲気によるが、**敷金・礼金を片方あるいは両方ゼロ**にしている物件や、契約開始日から数日～数週間を家賃無料にしてくれるフリーレントの対応をしているものもある。これらの中には、できるだけ早めに入居者を確保したいという大家さんの意図が汲み取れるものがあったりもするが、中には「**敷金無料だが、退去時の修繕費用の請求基準がかなり借りる側に不利**」であるとか、「**ガスコンロが設置されていないなど、結局初期費用がかさむ**」といった物件が

本紹介 10. ジョル ジョ・アガンベン『ホモ・サケル 主権権力と剥き出しの生』
フーコーの「生-政治」(biopolitics)議論を、「例外状態」(「緊急事態」)における人間の身体の扱われ方の議論に敷衍し、現代の難民や絶滅収容所などで身体の自由が犠牲化可能になっていく原因を近代政治体制の構造的問題として追及する。

本紹介 11. 上野千鶴子『女ざらい 日本のミソジニー』
『家長父长制と資本制』のような学術的な仕事だけでなく、退官記念講義などでも言葉にキレがあり、読みやすく面白い。この本も、日本の様々な場所で現れるミソジニーを(深入りせずに)拾い上げていくスタイルで、日本特有の抑圧の状況について考えたりするときにヒントがあるかも。

高確率で混ざっている印象があるので、よく吟味することが重要だと思う。フリーレントに関しては状況がもう少しこみ入っている。一般的な賃貸の契約は、入居開始日＝契約開始日＝家賃発生開始日が、不動産屋を訪れているよりも数週間後でも対応してくれることが多いが、中には「即入居」という条件が文字通り「即入居」を要求してくる、すなわち契約書にサインした日から家賃が発生するという契約書の作りになっている物件もある。そういった物件において、家賃の発生日を「入居開始日」からにして良いですよ、という実質一般の条件に合わせるだけの内容のことを「フリーレント」という名前で呼んでいる場合もあるから、こちらも注意してね。フリーレントは断って、その代わりに家賃を下げる交渉をした方が長期的に安く済むという場合が多いと思うし、その辺りのアシストをしっかりしてくれる不動産屋は良い不動産屋さんだと判断すると良いと思う。

ちなみに、これに引越し代が重なってくる。地方から引越してくるという人は、東京でものを揃えるということが現実的な選択肢になることも多いと思う。私は駒場生活の中でも引越しをすでに複数回経験したけど、同一区内レベルの近郊で引越しする場合でも、定価は 8 万円程度になり、複数社に見積もりをもとに値引きをお願いして、いろいろ条件を妥協すれば、半額程度にまで下げられるというのが私の印象(これは結構良い顔をしつつ、担当者の人が上司から怒られるのも申し訳なく思いつつ、強気で攻めるという困難な作業を必要とする……。良くないとは思うのだけど、本当にお金がない人にとっては仕方ない)。

③設備・住居条件(広さ、綺麗さ、階数、水回りなど)

部屋の中身に関しては、数値的な基準でよい／悪いが決めやすいというよりも、それぞれの好みによって選び方が異なるところだ。例えば、防犯・防虫などの理由で一般的に階数は 2 階以上が好まれるみたいだけど、階段が嫌い＋安く済ませたいのでずっと一階に住んでいるという私のような人も。ここでは、気になる条件を見ていこう。

広さ:ワンルームで多いのは、**10m² 台後半**の部屋。1m² 違ってても大きく部屋の印象は変わる。メインの部屋が 6 畳一間であることはほぼどこも変わらない(変わるとすれば、窓の方角や個数と、横長の部屋が縦長の部屋かということくらい)。一方、例えば 19m² くらいになるとバスタイレ別も可能になり、**大きめのキッチン**について自炊しやすい物件が多いが、16m² を切るとバスタイレは一体型で、**キッチンもシンクとコンロの間にスペースのない非常に小さなもの**になることが多い。本や荷物の多い人は、思い切って 20m² を超える部屋を選ぶのもありだろう。執筆者は本をたくさん持ってるので、20m² ないとなかなか厳しいな～と思ってます。

本紹介 12. サラ・アームッド(飯田麻結訳)『フェミニスト・キルジョイ』 アームッドは、フェミニズム理論と日常を結びつけ、感覚的な文章を書くのが上手な人。声をあげると迷惑な人だと思われること、少女が「わがまま」だと思われること、声をもてないこと、そうした状況に、どのような情動を喚起されるか、など。

本紹介 13. ジュリー・ソンドラ・デッカー(上田勢子訳)『見えない性的指向 アセクシュアルのすべて』 表紙が可愛い！(2) 副題にある「見えない性的指向」が本来のタイトルで、A スペクトラムは「見えない」ことに最大の特徴があります。A ロマンティックについての情報はもっと欲しい。ドラマ「恋せぬふたり」の劇中でも実は登場していました。

駅からの徒歩分を増やしたり、和室物件を検討に入れたりすると、見つかりやすい。単身者よりもファミリー層の多い地域だと、全体的に広めの物件を探せるという印象もあるよ。

内装:内装が綺麗な物件というと、どうしても新築やそれに近い物件ばかり目につくけど、実は築年数が経っていてもリノベーションやリフォームでかなり綺麗になっていたり、便利な内装に作り変えられたりしている物件も多いので、チェックしてみるといい。新築用の場所がないなどの理由で、あまり新規の建築計画は持ち上がらない代わりに、リノベーションなどが盛んな地域もあるので、そうした地区を探してみるのもおすすめ。

お風呂・トイレ:バストイレ別に関しては、確かに分かれているに越したことはないけど、一緒でもそこまで苦労しないという人もいる。それよりも、**浴槽の高さ**がありすぎてまたぐのが大変とか、浴槽が大きすぎてお湯を貯めようとしてもたくさんの水が必要になって困るとか、そうしたことを気にしても良いかもしれない。あと、個人的な経験として、**浴槽のない物件**(三鷹寮のこと)に住んだときは自分の選択を心から後悔した。

キッチン:小さめの部屋によくある、**シンクとコンロの間にスペースが少しもないようなシステムキッチン**は、正直言って自炊をするのには全く向いていない。私は個人的に、あのようなキッチンの設置をある程度規制した方がいいのでは？と思っているレベルだ。衣食住の一部であり、人権に関わる。シンクとコンロの間にスペースがあるごく普通のキッチンを使うために、少し余分にお金を払って賃料を上げることを検討しなくてはならないような賃貸市場がおかしいと本気で思う。ちなみに、スペースの問題以外に注目すべき点としては、**吊り戸棚**が高い位置にあって使いにくいということはないか、壁がスチール製になっていて磁石で物を貼り付けられるようになっているかどうか、といったことがある。吊り戸棚との間に**突っ張り棒**で収納を作ること、割と便利な吊り下げ収納を作ったりもできるので、収納に関してはいろいろ工夫ができるだろう。

日照:東や南に向いた窓が大きくあったり、すぐ近くに建物がなかったりなど、日照が良いことも、部屋を選ぶときの基準になる。(私個人は絶対に部屋干し派なのだけど)洗濯物を外で干す人にとってはありがたいし、換気がしやすい、曇り気もいい、など、ポジティブに毎日を生きることができるのでおすすめだ。ネガティブな時間も大切だけどね。

アンケート・コメント集

本紹介 14. キム・ジヘ(尹怡景訳)『差別はたいてい悪意のない人がする』差別発言をした政権の人物が、「誤解を招く発言をして～」などと意味のわからないことを言うことをうやむやにするこの国で、マイクログレッションとは何か、差別は善意があっても行われるのではないか、という視点は広く共有されてほしい。

本紹介 15. 三木那由他『言葉の展覧台』言語哲学の枠組みや、例としてだされる状況設定そのものに異議申し立てを行いながら、より日常に近づけた形で言語哲学を実践し、思考したエッセイ。差別と意図の関係について触れている箇所や、トランスジェンダーとしての話題にも触れられていて、非常におすすめの本です。

部活動・サークルのリアル@東京大学

執筆者:さめ

目次(興味があるところだけ読んでもらって全然OKです!)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1 はじめに ~なぜ書くのか・自分はどんな人か~ | 4 実際に入ってみて |
| 2 団体の探し方について | 5 もし困ったら... |
| 3 新歓について ~新歓される側の話~ | 6 おわりに |

1 はじめに ~なぜ書くのか・自分はどんな人か~

こんにちは。春から大学3年生のものです。ここでは、自分が経験した部活・サークル・委員会でのことをシェアさせてもらえたらと思います。

なぜシェアしようと思ったかという、自分の経験した嫌な経験は、これから大学に入ってサークルや部活動などを始める人だれもが経験するものであるように感じました。そして、もし先に「こういう経験をしよう」ということが頭の片隅にあったなら、自分ももっとうまく対処できたのではないか、こんな思いをせずにすんだのではないか...という思いがあります。

そのため、「これから大学生活の中でいろんな団体に参加してみたい!」「サークルなどを楽しみたい!」などと感じている人たちが、本当に楽しめること、そしてもし辛い思いをしそうな時に抵抗したり逃げたりできることを願って書きます。

(飛ばしてもらっても大丈夫ですが、)自分について少し話した方がこの後のお話がわかりやすいと思うので、ちょっとだけ書きます。自分は中高とずっと運動部に入っており、部活とスポーツが大好きでした。(部活やスポーツを楽しめるほど、その頃は特権を持っていたんだと思います。)そのため、大学でどんな運動部・スポーツサークルに入ろうかずっとワクワクしていたのを覚えています。受験が終わってすぐ、いろんな団体について調べまくって、新歓にもたくさん参加していました。

そして、運動部1つ、サークル1つ、委員会1つに初めに入りました。(今は全てやめていて、違うサークル3つほどに入っています。)初めの方は楽しくやれていましたが、(主に部活動で)ホモソーシャルな雰囲気や、ブラックすぎること、また自分がシスジェンダーじゃないかもしれないと揺らぎ始めたことで辛くなってきました。初めはどうか自分が楽しめる環境に改善し続けることを目指しましたが難しく、いろいろあってそれぞれ2年生の内にやめました。

ここでは、自分の個人的な経験についてはなすため、必ずしも全ての団体で共通して言えることではありませんし、また、嫌な経験を書く時などに特定の相手を責

アンケート・コメント集

編集コメント(h):

わたし自身はLGBTQ+系サークル以外に入ったことがないので知らなかったこともたくさん。いや本当に、マイクロアグレッションたくさん受けるよね。いつまで耐えればいいんだろ

Q12. どんなサークルや部活にいますか?

A12. 続けているもの:ジェンダー問題、マイノリティに関する問題などに幅広く取り組むサークル(旧 Voice Up Japan 東大支部)。やめたもの:武道系の運動部・自分の興味分野にそってプロジェクトを自由に立ち上げるサークル・学園祭の実行委員会

A12. 運動会、ジェンダー関連の学生団体、ジェンダー関係ない学生団体

める意図はありません。自分も悪い風潮に加担していたこともあって人のことを責められる立場にはありませんし、何よりも個人的な問題というよりも構造的な問題であることが大きいからです。

参考になるかわかりませんが、これからのみなさんの大学生活にこの話が少しでも役立ってくれるととても嬉しいです。飛ばし読みで良いので、興味があるところだけでもぜひ読んでみてください。

2 団体の探し方について

ここでは、自分が新入生の時にどうやっていろんな団体を調べたか書きます。(自分個人のやり方です。)

○人づて

上クラの先輩、すでにその団体に入っている知り合いなどから聞きました。こちらは内部情報が手に入りやすかった気がします。そのため、色んな裏話が聞けて良かったですが、「入って欲しい…！」という思いから聞こえが良い感じに話してしまうことはあるので、丸呑みにするのは注意かも知れません…。(例えば、練習週 3 の参加だけで大丈夫！って言っていたのに、結局週 5,6 で部活をやることになったり、、、)

○サイト

オリエンテーション委員会、UTbase、UTmap などが出しているサイトが参考になりました。このサイトで、(元も含め)いわゆる「東大女子お断りサークル」(詳しくは「注意点」の節で書きます)などを見分けられたかなあと思います。男女比や東大生と学外生の割合が記載されているので、それらを見ると少し見分けられた気がします。

○SNS

それぞれの団体が運営している新歓用の Twitter や SNS を見ていました。どれだけ新歓に力を入れているのかというのが、わかりやすかったかなあと思います。ただ、新歓に力をいれている＝「良い団体」かは微妙です…。(もちろん、仕事がうまく回っていて、活発に活動しているという点もあると思いますが、部員になった時に新歓でたくさん働かせられるという点もあるので…)「#春から東大」と調べるといろいろ出てきました。

3 新歓について ～新歓される側の話～

アンケート・コメント集

Q12. どんなサークルや部活にいますか？(続き)

A12. (現在)
LGBTQ+関連のサークル 2 つ。発達障害の当事者サークルを新設予定。(過去に所属したもの)文芸サークル 2 つ、生物学を勉強するサークル(発足ならず)

A12. 吹奏楽サークル

A12. サークルではないが、同じクラスの人たちや同じ授業の人たちで読書会を毎週やっていた。

Q13. サークルや部活の体験談(いいものでも、わるいものでも、雑談でも)(違和感含む)

A13. 今も続けているものでは、自分のやりたいことができたり、(続)

次に、新歓についてお話しします。新歓は(たぶん)新入生歓迎会のことで、(たぶん)団体に人を入れるため、いろいろ勧誘したり、イベントを開いたりすることだと思います。

自分は新歓される側と、する側のどちらも経験しました。なので、する側の話(新歓の裏側)については次の章で書きます。ここでは新歓期の様子について、自分の経験をもとに書きます。

○テント列

テント列については、自分の代は新型コロナウイルスの影響で経験していないので、特に述べませんが、きっと新入生の多くは経験することになりそうな気がするので、気になる方はネットなどで調べてみるといいかもしれません！(賛否両論出てきます)

○オンライン新歓

テント列などがなかったため、オンラインでの新歓がとても多くありました。気軽に聞けたり、強引な勧誘にあいにくかったりしたのでよかったです。自分は、サイトやSNSを通じて興味がわいた団体と、その類似団体(?)全部を見て回ったのでとても多くの新歓に参加しました。その点オンラインは楽でよかったなと思っています。

○新歓イベント

体験参加

イベントとしてやるのは、これがとても多い気がします。雰囲気とかも(ある程度)わかりやすかった気がします。コロナでは食事がNGだったのでほとんどなかったですが、例年は体験練習などの後に、ご飯にいたりするそうです。(治安の悪いとこだと飲みがあるらしいと聞いたことがあります。)

ご飯がなくても、例えばボドゲやレクなどで、遊んで仲良くなろう！みたいな企画は多く、その際に奢ってもらえることが多かったです。ただ、奢ってもらっちゃうと、何とも言えない権力関係を感じてもやもやしますね笑(個人的な感覚かもしれませんが、「奢ってもらったんだから…」って気持ちが働いたり、「自分が先輩になったら奢らないといけないんだ…」という気持ちになるので。

「女子新歓」

体験練習の中でも、「女子新歓」というものが多くのスポーツ系団体であったと思います。これは、女子学生が少ないこともあり、女子選手がほとん

A13(続). 本音で話せる環境があったり、安心して所属できているので、非常に大切な居場所だと思っている。一方で、辞めたサークルでは、ミソジニー的でマッチョな価値観の人と話さなければならなかったり(プロジェクトを作るサークル)、性別を勝手に割り当てられたり、徹夜で作業、学校に泊まり込みで仕事、自分のお金や時間を費やしてまで学園祭に貢献するといった「ワーカホリック」がかっこいいという風潮、先輩が後輩に必ずおごれという風潮、日本の政治のような上層部のごたごたが辛かった。

A13. 合宿前、担当者に「大浴場が使えない」と言ったら個別で入浴することもできるよう対応してもらえた。

どの団体で不足しているそうです。そのため、「女子」を獲得するのにいろいろな団体が必死になっているように思います。

この新歓では「女子」のみが参加可能になります。女子部員の先輩がとくに前に出て声をかけてくれたり、いろいろ教えてくれるので、「安心して参加できる」ということで割と需要はありそうですが、いろいろと問題がありそうに感じます…。(そのことは「新歓する側」の話でまた書きます。)

次に、新歓期に自分が経験した嫌なこと、また、入部してから気づいたことについて少しだけ書きます。

○ミスジェンダリング

(する側の話でも書きますが、)多くの人は名前や見た目などからジェンダーを判断してきます。そのため、ミスジェンダリングが頻発します…。例えば、いわゆる男性の名前とされる名前で「女子新歓」に応募すると断られることがあったそうです。

○良く見せちゃう

ある程度仕方がないのかもしれませんが…基本的に「新生入生に入ってほしい!」という思いなどから、良さげに見せてしまうっぽいです。例えば、練習の厳しさや、練習時間、朝練の回数、先輩後輩関係などなど…その新生入生が望んでいるような感じに答えてしまいがちなところはあるかもしれないので、鵜呑みはよくないかもしれません。(実際、練習の量や厳しさ、上下関係など、部活に入ってみて、「聞いてたのと違う…」と少しなりました。)

○「東大女子お断りサークル」

耳にしたことがある人もいるとは思いますが、東大には「東大女子お断りサークル」なるものがありました…。自分が新生入生のとき(2021年度)、あるテニサーの先輩が、「もう東大女子お断りサークルはなくなったらいいよ」と言っていた記憶があるのですが、実情としていまだ(女子メンバーがいたとしても)「東大女子ゼロ」である団体があったり、(残念ながら少なくない団体で)セクシズムが根強かったりするように感じています。

「東大女子お断りサークル」については論文にしているひともいるらしく、詳しく知りたい方はネットで調べてみるといいかもしれません。

○「男子部」しかない

もう一つ、「東大女子お断りサークル」でなくても入ることが困難な団体があります。それは、「男子メンバー」しか受け入れていない、もしくは、メン

A13. 合宿、遠征など泊まりも多いのだが、運動会は「男子部」「女子部」しかないし、合宿中も「男子部に入っているならシス男性」「女子部に入っているならシス女性」は大前提。

A13. 文芸サークルでは女子が少なく、男子同士で、小説内でシュールなギャグを披露し合う場面が多かった。自分もそのノリでギャグを披露すると、面白がってもらえないことが多かった。なんとなく、オタク男子同士のホモソなノリに乗り切れていない感じが辛かった。また、サークルに入ってから初めて、自分が知り合いに自作のフィクションを見せるのが嫌だということがわかったものの、なかなか抜け出せず辛かった。

バーにはなれるが、マネージャーにしかなれないというものです。実際に自分も、やってみたかったスポーツの団体に連絡したら、「マネージャーなら入ってもいいけど、選手としてはだめです」と言われました。「女子選手」がもともといないため、チームを作れず、仕方がない、とのことでした。悲しかったです。

4 実際に入ってみて

○いい事

人との繋がり・居場所作り

所属することの何よりもいいことは、友達が作れる、居場所ができる、ということだと思っています。自分の出身校は毎年五人以下程度の人数が東大に行くので、もともとの知り合いは少ないです。

クラスというものがあるおかげで、クラスで友達を作れるかもしれませんが、これはどのクラスになるかでかなり変わってくるように思われます。自分のクラスは仲良くなれる人が多く、また男女比も半々に近かったです。ですが、人によってはミソジニー発言をしまくるひとがクラスメイトにいたり、「女子生徒」の数がとても少なくてクラスに馴染めなかったりした、という話を聞いたことがあります。

新しい経験

大学のサークルや部活は、中高時代と比べ物にならないほど、種類がたくさんあり、新しいことにたくさん挑戦できる機会があったように感じます。(ただ、先ほど書いた「東大女子お断り」や「男子選手のみ」の団体があり、ほかにも団体に所属し続けるにはいろんな条件が存在してしまうので、その挑戦できる機会はだれに開かれているんですかね…)

○悪いこと

*この節では、具体的な差別発言などにも言及するため、読まれる際にはお気をつけください。もし不安があれば次の章まで読み飛ばしてもらっても大丈夫です。

ブラックすぎる

(サークルでもあるところはあると思いますが、)これは部活と委員会での経験です。「いつも寝不足」、「徹夜で仕事をする」、「私費を自分の団体のためにつかう」、「大学人生をその団体にささげる」…そんなことが、「素晴らしい」とされる環境だったと思います。もちろんそう考えていない人も多くいるとおもいますが、風潮として感じました。逆に休みの多い人、自主練

アンケート・コメント集

A13. 古典芸能であるため、男性はこう、女性はこうというのが非常に多いです。着物や道具の持ち方、姿勢などが男女ごとにきっちりと決まっているし、“男女”で力仕事と受付仕事に分けることもあります。古典芸能である以上変えようのない部分も多いが(ノンバイナリーな着物が無いなど)、それでもやはりもやもやすることはある。

A13. カルト団体

体(編注:重要なので回答者の了承を得て強調)に勧誘された。大学に入った最初の年がコロナ禍の始まりで、新歓活動も全部オンラインだったので、サークルの人複数人对自分ひとり、という構図だった。地元が同じ東大生のLINEグループみたいなものが元々あり、最初は多分

の数が少ない人、多くの時間をその団体にささげない人＝「頑張っていない人」とされているように感じました。

そして、団体に所属したらやらなければならないとされることは、想像よりも多くありました。その団体がやっているスポーツなどをただやるだけでなく、事務作業や掃除、整備、いろいろな節目の会(新年会、忘年会など)、割り当てられた係の仕事などなど…必須とされることはいろいろとありました。(自分が所属しているところはいなかったのですが、)これはマネージャーのあるなしなどによっても変わるし、ある程度は新歓のときにこれらのことがあるのを把握できていたと思います。ただ、それが「思ったよりも多い」ということです。無償でその団体のために労働することをとにかく求められる感じです。もちろんじぶんのキャパが小さかっただけかもしれないし、想像が足りなかったのかもしれませんが、否応なく「自分の生活の大半をささげる」ということになってしまいました。

権力関係

これは特に部活での経験です。自分が所属していた団体は、卒業生の人たちが教える側として部活にくる感じのため、何十代も上の先輩も部活に来ており、上の人ほどえらい、という構造でした。そして、一番下っ端である、現役部員は、教えを乞いつつ、何個上までもいる先輩たちを「えらさ順」に敬意を示さなければなりませんでした。(細かく説明するのは難しいですが、挨拶の順番、ものを渡す順番、座ってもらう場所、洗濯の仕方などです。)

また、(このような団体なのでもちろんですが、)現役の部員ないでも学年によって先輩後輩関係がありました。割と先輩後輩は仲が良かったと思いますが、それでも思ったことを何でも言えるというわけでもなかったです。これらの権力関係が次に述べるホモソやミスジェンダリングと絡むとより大変でした。

ホモソーシャル

大学全体がそういう雰囲気なのかもしれませんが、ホモソーシャルな場であると感じる場面は多々ありました。たとえば、女子部員のみ着替えは更衣室にいき、男子部員(男性指導者)は人目につく練習場で堂々と着替えたり、男子部員だけで何か集まって盛り上がり、近づこうとすると「男だけの場所だから」のような反応をされたり、「お前ホモかよ！」というような発言が飛び交ったり…。

Allo シスヘテロ規範・ミスジェンダリング

(スポーツ関係ない団体でもそうだけど)多くのスポーツ系団体で言えることかもしれませんが、大抵の団体ではAlloシスヘテロ男性/女性しか想定

A13(続).

そこ経由で勝手に相手が僕のことを追加して、チャットが始まったのだと思うけど、その「同じ出身の東大生」であることになぜか多大な信頼感を感じてしまって(コロナ禍だったのもあるのかな)、オンラインのお話会にこのこついで行った。清掃活動のボランティアをしている団体であり、社会のために何かできることをしよう！って気持ちでみんな動いてて、同時に価値観も育成云々～みたいなことを言っていたのを覚えている。はい、東大 CARP です。去年の騒動で完全に知った人も多いと思うけど、勝共連合・統一教会系の団体です。実は、僕の家族にも過去に引っかかった人がいるので、存在は知ってたけど、それでもひとりだとして行っちゃうから、

されていません(編注:allo は allosexual, alloromantic を表し、アセクシュアルやアロマンティックではないこと)。そして、名前と見た目から、「〇〇ちゃん/くん」の呼び分けをされ、練習内容や目指すべきもの、やるべき仕事を割り当てられます。合宿は経験せずにやめました。お風呂や部屋の割り振りも周りによって判断された性別で決められます。

また、同期メンバーとの旅行では、ゲームの中で性行為の経験を問われたり、好きな人を無理やり言わせようとしたり…ということがありました。

新歓の裏側

これから新歓に参加する人が多いと思うのでちょっとだけ新歓する側の話を書きます。自分が部活を辞めることを決意したのが新歓する側としての経験をしたためです。自分に対してされる嫌なことはなんとなく受け流せても、自分が新入生に、自分が嫌だったことをするのはどうしても避けたかったです。ここまで書いた、団体におけるいろんな問題について個人としてはわかっている、新歓する側としては「この団体に入って！」と宣伝することが求められます。

もちろんそう宣伝する前に、宣伝できるくらい団体の問題を解決するのが一番ですが、自分にはできませんでした。名前に基づいて新入生の性別を判断し、名簿に書き、自己紹介や個人的な会話の中で話していた内容やその人の様子、SNS アカウントでの発信内容などを裏で共有し、それに基づいてなんて声をかけたら仲間になってくれるか「良さげな言葉」を考える、ということが行われていました。

5 もし困ったら…

前節で書いたような感じで、いろいろ嫌だなと感じることが積み重なりました。その結果自分がどうしたか、または実際はできなかったけど今思うとこうするべきだったなと思ったことを踏まえて、もしみなさんが困った時にとりうる手段について少しだけ書きたいと思います。

○距離を取る

嘘についてでもいいからちょっと休んだり、違うコミュニティに目を向けてみたりするといいかもしれません。今自分やこの団体ないではなにが起きているのか、自分がこんな思いをする必要があるのか、などすこし考えやすくなるかもしれません。休むことは大切です。みなさんは所属する団体の所有物ではありません。

○相談する

A13(続). 本当に気をつけてほしい……LINE ブロックでもなんでもいいので、逃げて。自分ひとりの判断力や知識を過信しないで。

本紹介 16. チョ・ナムジュ、チェ・ウニョン、キム・イソル、チェ・ジョンファ、ソン・ボミ、ク・ビョンモ、キム・ソンジュン(斎藤真理子訳)『ヒョンナムオツパへ韓国フェミニズム小説集』恋愛や家庭関係についての小説から始まり、後半はSF系の小説が収録されている。チョ・ナムジュさんは『82年生まれ、キム・ジョン』で著名な作家で、7名の作家が「フェミニズム小説集」として短編を寄せたもの。斎藤真理子さんの翻訳も秀逸。個人的にはチェ・ウニョンさんの描く母娘関係が「これ読みたかったやつや」となった。

一番話しやすいと感じる人に、自分のタイミングで相談してみるといいかもしれません。同じ団体内の人の方が状況の理解がしてもらいやすいかもしれませんが、メンバーだからこそ話しにくいこともあると思います。自分は外部の人と内部の人、どちらにも相談しました。どちらとも相談すると、客観的に意見をもらえたり、逆に所属する身として共感しながら寄り添ってくれたり、いろいろな意見がもらえていいと思います。ただ話す相手を間違えると、もしかしたら心無い言葉を言われたり、周りに言いふらされたりすることがあるので、難しいですね…。

この後話す、「仲間を増やす」、「抵抗してみる」などとも共通するのですが、すべて本当のことをいう必要はないと思います。例えば、自分がマイノリティ当事者だったとしても、それを明かさずに「こういうことは問題だと思う」と指摘することは可能なこともあります。自分が話していいと思える範囲だけでいいので、嘘をついてもいいので、信頼できる人に少しでも思いを話すというのは大切に感じます。

また、学生相談所のような場所もあります。自分は KOSS というところでいろいろ相談を聞いてもらっていました。自分の悩みについて話せそうな機関や場所に行って、話すこともいいかもしれません。

○仲間を増やす

もし誰かに相談することができたら、その人に仲間になってもらって、一緒に現状の問題について考えるといいと思います。仲間の人数が多いほど、その問題をどうにかしようとした時に、変化を起こしやすいし、耳を傾けてもらいやすいように思います。

○声をあげてみる

実際に声をあげてみたり、行動を起こしたりすることもできるかもしれません。意見書を書いて幹部に出してみたり、「これって問題じゃない？」というふうな話を広げてみたり、問題だと感じる行為を求められてもそれを断ったり…できることはいくつかあるように思います。大きく声を上げるような行動ほど、思いを共有してくれる仲間がいると心強いように思います。

ただ、もちろん失敗することもあります。自分は失敗しかしていません。失敗すると辛いし、無力感に包まれるし、嫌になってしまうかもしれません。ですが結果がどうであれ、行動を起こしたこと自体に意味があり、何かしら影響を受けた人が周りにいて、かつて抵抗したという事実が生まれます。それだけでとても大切なことだと信じています。

○辞める

辞めることは悪いことではありません。いままで書いた方法についてやろうとしたけどできなかった、やったけどだめだったなどの経験は自分にもとてもあります。またそもそも、自分が労力をかけてその団体のために悩んだり、時間を使ったり、問

本紹介 17. ヴァー
ジニア・ウルフ(丹治
愛訳)『ダロウェイ夫
人』1920年代の
ロンドン。クラリッ
サがパーティを開く
たった1日を描いた
小説。権威や帝国、
軍、死、同性愛の失
敗などが、ビッグベ
ンの鐘が鳴るのと
同じように、常に鳴
り響くような描写が
なされています。分
身であるセプティマ
スに、わたしはクイ
アネスを感じる。

本紹介 18. チェ・ス
ンボム(金みんじょ
ん訳)『私は男でフ
ェミニストです』フ
ェミニズムとは「性
にもとづく差別や
搾取や抑圧をなく
す運動」(ベル・フッ
クス)であり、男性
だって当然正当化
つ必要な担い手で
す。韓国の高校の教
師であり、フェミニ
ズムを学校教育に
取り入れる様子、ま
たその際の自身の
変容を紹介してい
ます。

題を無くそうと頑張ったりする**価値がその団体にはあるのか**…とも感じられるかもしれません。辞めることには**勇気**もいるし、**労力**も必要です。ですが、いつまでも自分を苦しめてくる団体には**続ける義務**はありません。辞めたいと思ったら辞めるのも非常に重要だと思っています。ただ、強く引き止められたり、辞めようとする**ことを悪く**言われたり、辞める理由に関して**噂**を立てられることもあるかもしれません。

自分でも「**良い辞め方**」というものがわからず、いまでも悩んでいます。部活を辞めた時、自分は強く引き止められた上に、時間をとって大勢の人に理由を話すことを求められました。とても辛かったです。できるだけ辛い思いをせず辞めて欲しいです。もし信頼できる人がいれば事前に相談するといいかもしれません。少なくとも、相談してくれる機関や人は存在します。

6 おわりに

ここまで読んでくださり、本当にありがとうございました。みなさんの大学生生活に役立つものになったかわかりませんが、もしなにか悩んだことがあったら少し見返してもらって役立つ部分ないかな…とみてもらえたらとても嬉しいです。

ひとまずお伝えしたいことをざっくりまとめます。部活・サークル・委員会などに参加することは、良いことも悪いことも経験しうるし、辛いことは必ずあると言ってもいいかもしれません。辛いことがある想定に入る前からちょっと考えておくと、急に差別に遭って辛い思いをした時に役立つかもしれないと思っています。(もちろんですが、差別をする側が悪い話であり、差別された側に非はありません。差別を受けるかもしれないと想定しなきゃいけないこの状況自体がおかしいです。)

また団体に所属するときに、それらに**参加できることはある種の特権**を持っているからかもしれない、ということも考えて欲しいです。自分も大学 2 年生になるまで、自分の特権に無自覚でした。(今でも無自覚な面があるかもしれません…) 特権を利用して部活・サークル・委員会などに参加すること自体は悪いことではないと思います。ただ、(自戒の念も込めて)そこに**参加したくても参加できるような状況じゃない人、排除されている人がいるかもしれない**ということを忘れないで欲しいです。

そして、もし自分自身が排除される側だと感じたり、辛い思いをしたり、困ったことがあったら、**絶対に無理をしないで**ください。「その団体のために尽くすこと」が「良いこと」になってしまって、辛い思いをしていることに自分自身が気づかない場合もあります。自分の精神や生活までも犠牲にしてその団体に**尽くす義務はありません**。どうか自分自身を一番大切にして欲しいです。

本紹介 19. ショーン・フェイ(高井ゆと里訳)『トランスジェンダー問題』 東京大学 TOPIA で読書会も行いました。トランスが直面する問題は、トイレや浴室といったよく「議論」されるスペースの問題や承認の問題だけでなく、経済的解放の問題です。トランスの抑圧の根の大部分は資本主義にあり、誰かが失業状態であることを必要とする資本主義体制で、人種、階級、ジェンダー、障害を通じた印付が行われている以上、他のマイノリティ運動と同じ点が目標となるのです。また、警察や国家、刑務所による暴力を問題にする廃止主義(abolitionism)も、この本を通じて知る人が多いかも。トランスの「問題」を考える上で、今後外せない本です。

学科選び・将来のキホン

執筆者: よたけ(世竹裕介)

本稿では、東大の学科選び(進学選択)と、大学卒業後の進路(修士の院進・新卒就活)について、簡潔に説明する。

東大の学科選び——進学選択の概要

大前提として、他の大学で、入試の時に学部(場合によっては専攻)を選ぶのとは違い、東大では、2年生の春学期になってから、進学したい専攻を選ぶことができる。その際、(学科によっては履修しないといけない授業の制限があるものの)入った科類にかかわらず、どんな専攻にでも行くことが可能である。とはいえ多くの人は、文科一類→法学部、理科三類→医学部などの、その科類で代表的な進学先を選ぶことが多いが、中には文科三類→法学部 or 理学部数学科 or 医学部など、分野や文理をまたいだ選択をする人もいる。

進学選択時に使われるのは、進振り点である。これは、(基本的には)2年生の春学期までの全ての履修科目の成績の平均点である。東大では、1年のうちに、4-7月(春学期)、10-1月(秋学期)の2学期があり、1学期ごとにまとめて、テストやレポートなどの出来に応じて成績がつけられる。成績は100点満点であり、50点以上が合格点(=単位取得)であるが、合格点を上回った成績でも、1点刻みで点数がつけられる。そして、2年生の春学期に、自分の行きたい専攻がどれかを、UTASという履修登録用のウェブサイトに登録する。とはいえ各専攻の定員は決まっているので、定員を超えた志望者がいた場合は、スクリーニング(振り分け)を行う必要がある。その際に、この進振り点が高い人順に、進学を受け入れる人を決めるのである。

こうした進学選択制度は、大学に入ってから自分の興味を見つめなおして学科選択ができるという点では非常に良いものの、入学してから点数の獲得に追われたり、同級生との比較やマウントの取り合いにつながったり(誰が言ったか、「第2の受験戦争」)、文転/理転や、理三以外からの医学部進学など、選択によっては進学自体や専門科目についていくことに何倍もの努力を強いられたりと、悪い点多々ある。

アンケート・コメント集

Q14. 学科選びについてのコメント

A14. ジェンダー論、フェミニズム、クィア理論を、教養学部の表象文化論コース以外で研究したかったが、説明会で聞いてもできないといわれる学科が多かった。また、学科の雰囲気かわからないため、知り合いに頼るしかなかった。KOSSでの知り合いがいなかったら大変だったと思う。

A14. 情報を集めるのが大変。どの学科がどのくらい大変なのか、どの先生はハラスメントをするのか、周りの人はどこからか情報を仕入れてくるのに私は知らないことばかりでかなり不安になった。サークルの先輩やクラス同期の詳しい人々に聞いたりして(情報の信頼性には十分注意しながら)
(続)

以下では、進学選択に関する行うことを、時系列順に紹介する。

- 1年生(春学期・秋学期): 単位をとろう! 成績に気を付けながら
 - この時期には、必修・選択科目問わず、とりあえずは単位の取得(=50点以上)を目指してテストに取り組もう。
 - 一部の学科では、進振り点で80点以上を要求される。これは、多くの科目で、履修者の上位3割以上の成績を達成することが必要となる成績である。この場合、学生自治会やクラス内で共有される過去問を駆使したり、教科書やプリントを普段から丁寧に読んだりして、興味のあるなしにかかわらず、履修科目をまんべんなく熱心に勉強すると、成績を上げやすい。
 - 一部の学科では、進学時に要求科目がある場合がある。例えば、文系→理学部への進学には、理系の必修となる数学や物理を、アドミニストレーション棟で履修許可証をもらって、担当教員に署名してもらって履修し、単位を取得する必要がある(理系→文系学科では、こうした履修科目の制限はほぼない)。一年生の春学期から理系の必修を履修しないと、要求科目の要件をみたせない。理学部や医学部進学に少しでも興味がある文系科類の人は、理系の必修を早めに履修しよう。一方で、農学部・工学部(の一部)・教養学部(の一部)など、理転時に特別に理系の必修を履修する必要がない学科もあるので、こうした学科を検討するといい。
- 1年生秋学期から2年生夏学期: 学科説明会/研究室見学に参加しよう!
 - 学科によって異なるが、進学選択前の11月ごろや4-5月ごろに、学科・コースごとに、授業や研究の内容を教員や先輩が説明してくれる、学科説明会がある。気になる学科のものは必ず参加しよう。全体への説明の後に、教員の個別相談や、先輩との交流会を行う学科もある。また、教員に直接メールすることで、研究室見学に行ける場合も多い。こうした教員・先輩との話の際には、自分の興味(好きな授業や作家・思想家名、トピックなどのざっくりしたものでOK)を伝えて、それがその学科だとどのように研究できるのかを聞いてみよう。進学後の勉強のイメージを具体化することができる。
- 2年生6月から: 志望学科をきちんと登録しよう!
 - 進学選択は、2年生の6月末に始まる第一段階から9月ぐらいまでで、3段階に分けて実施される。第1段階では希望は一つしか書けないので、人気学科では落選する人もいる。その場合、第二段階・第三段階で、希望学科を順位をつけて複数書くことができる。

アンケート・コメント集

A14(続). 大学当局からの公式情報だけに頼りきりにならない方が良くと思う。

A14. 進学選択で理転した身としては、入学後に専攻を大きく変えられるのは嬉しかった。ただ、私のいたクラスでは、進振り点の高さで学科の良さを判断して、文学部や教育学部など、定員が多く底点が高くなりにくいコースを過度に軽んじる傾向があった。また、進振り点を競い合う雰囲気強く、友達に進振り点が高いことを知られ「お前と同じ空気は吸いたくない」と言われたのが辛かった。また、選択可能な学科が多すぎて、選択肢を絞るのに苦労した。以上のことから、先生方には、進振りの結果に過度に固執しなくてもいいことを強調してほしい。

- 志望学科の登録期間は厳密に決まっているので、くれぐれも登録を忘れないようにしましょう。

以下、進学選択に関して気を付けるべきことを、筆者の経験をもとにいくつか挙げる。

①進学選択に囚われるな！

1・2年生の多くが、希望の専攻に行けるかどうか非常に不安になるが、実際のところ、進学選択の時点で、その専攻での研究手法や扱えるテーマを50%以上理解していることはほとんどないので、**自分がその学科に合っているか合っていないかは、進学してみないとわからないものである！** 実際、進学選択で第三希望(それも適当に書いたもの!)の学科に進学して、その分野の教授になった人もいるのだ(和田 毅教授。

<https://www.todaishimbun.org/shingakusentaku20180818/>！また、学科の雰囲気は合わなくても、大学院進学(社会人大学院も含む)で、改めて自分の関心に合う学科を選びなおすことができる。このように、もし希望通りの場所に進学できなくても、その学科の選択科目をいろいろ取る中で、卒論が書けそうに感じるような興味のある科目はおのずとできることが多いので、「なるようになる」の精神で進学選択を楽しもう。

②進振り点に惑わされるな！

また、1つの分野(例えば心理学)に対し、選べる学科が複数ある(文学部・教育学部・教養学部)場合も多いが、その際、**進振り点の底点(後述)が高い学科がいい学科とは限らない**ことに注意してほしい。進振り点が高いのは、定員が少ない(1桁台や30名以内。だいたい教養学部)学科が多く、逆に言うと、文一からの法学部、文三からの文学部などは定員が非常に多いので、必要な単位さえとれば、成績が悪くても進学できることが多い。しかしそれは、学科の価値が教養学部>文学部であることを意味しない。実際、底点が高い学科では、結果として、授業を真面目に受け、要領のいい人が集まりやすいものの、その学科の勉強が大好き and/or 得意な人の多さとはあまり相関がない。また、履修できる授業や、卒論を指導してくれる先生も、進振り点の高いところにあるものが集まっているとは限らない。1年生の時は、進振り点を同級生同士で比較したり、競争したりするような雰囲気になることもあるが、そうした雰囲気に惑わされずに、自分の興味を分析することに力を使おう。**JUKEN WAR IS OVER, IF YOU WANT IT**(ジョン・レノン風)。

アンケート・コメント集

A14. クィア理論、フェミニズムを中心に学びたかったので、教養学部の表象文化論コースに進学した。が、表象文化論の授業は直接関係しないものも多いので、副専攻(サブメジャー)のシステムを使い、北米研究コースの授業も多くとっている。ただ必修が多く、一つの授業の生徒数が少ない割に予習は多くて、結構大変。

Q15. 将来の進路についてのコメント

A15. 何もわかりません…お金は稼がなきゃなので働かないとですが、働ける場があるのか……。

A15. 大学入学すぐは、研究者になれなきゃ死んでしまうと思っていただけ、学部4年生・大学院生として研究していく過程で、(続)

③卒業研究をぼんやりとイメージせよ！

筆者が思う進学選択の決め手は、卒論の題目や研究室をみて、自分が教わってみたいと思える(分野や手法の)教員が、その時点で 2 人以上いる学科にすることである。多くの学科では、ゼミや卒業研究で、一人の教員のもとについて勉強することになる。つまり、学科生活での QOL が、一人の教員の手握られる状態に置かれやすい。そのため、授業内容や進路の実績ももちろん大事だが、将来の指導教員になってほしい先生が、(進学後にハラスメントや性格が合わないことが発覚したときに備えて)2 人以上いると、比較的楽しい卒業研究ができるだろう。(とはいえ、文献講読をベースとする学科では、対象が細分化されすぎて、興味に合う先生が 1 人しかいない場合もある。その場合は、先に研究室見学で、人柄を確かめておくといいかも)。

卒業後の進路選択のキホン

個人差は大きいですが、3 年生の秋学期から、院進を希望する人は、院試(大学院の入試)の準備を、新卒就活をする人はその準備をする人が多い。筆者は後者を経験しておらず、また後者は資格取得を前提としない多くの学科では、大部分の学生が経験するので、前者の大学院入試について、やることを時系列順に簡単に記述する。

- 3 年生の秋から 4 年春: 受験したい大学院(受けるか否かも含めて)を決めよう!
 - 大学院入試(修士)の本番は、4 年の夏に行われることが多い。その前に、大学院入試を受けるか、受けるとしたらどこにするかを決めよう。理系では、企業で研究職をするには修士号以上が、大学や研究所で研究員になるには博士号以上が必要であり、研究職に興味があるなら、大学院進学を検討してみよう。在学中に就活やインターンをして、研究に向いているか否かを判断することができるので。文系の場合は、前述のような、学位を必要とする研究職のポストが理系ほど明確ではないが、大学での研究ではやはり修士号・博士課程修了が必要なので、研究に興味があれば、進学を検討しよう。
 - 大学院は、卒業研究と同じ指導教員のいる学科を受験する人が多いが、基本的に、全国(海外含む)どこの大学の大学院でも候補に入れることができる。また、分野を少し変えることも、大変ではあるが可能である(先輩に、物理学→心理学の院に進んだ人がいる)。特に、研究職を考えている場合は、研究内容や教授の人柄が自分に合っている場所を選ぶために、興味のあるテーマの研究室は積極的に見学して、進学を検討しよう。

アンケート・コメント集

A15(続). 産学/官学連携を積極的にしている研究者と話をしたり、自分で小説を書いたり、サークルの寄稿やデモに参加したりしたことで、アカデミアにとどまらず、民間企業に就職しても社会問題の解決や自然現象への興味を追求することはできることに気づいた。今の気持ちとしては、研究 19: 就職 1 ぐらいだが、今後大学院生向けの就活サイトに登録したり、インターンに参加する中で、いい就職先が見つかれば企業就職も考えている。

A15. 政治に参加しようと考えている。実際に政党に参加するか、それとも草の根の活動をするかは未定。

- 4年生春から4年生夏: 大学院入試を受験しよう！
 - 大学院入試(修士)の主な構成は、①英語(を中心とした外国語)の試験、②学科独自の記述試験、③面接である。①では、理系ではTOEIC, TOEFLなどの外部の試験を受験することも多い。この場合、志望学科での試験とは別に自分で受験して、出願時にスコアを提出しないとイケないので、できれば3年の冬、遅くとも4月までには受験しよう。
 - ②では、受験する大学院の所属教員の専門分野から出題される。過去問を後悔しているところも多いので、入手して、傾向と対策をつかんで勉強しよう。今いる学部から直属の大学院に進学する場合は、履修した授業のレジュメが役に立つことが多い。そうでない場合でも、その分野の基礎的な内容が書かれた書籍を探して自習し、試験に臨むことができる。
 - ③では、卒業研究の内容を大まかに説明できればOK。
 - もし不合格だった場合でも、秋入学(9月入学)の制度を使えば、半年後に受験しなおすことができる。
- 4年生から: 奨学金を探そう！
 - 「奨学金のキホン」の項を参照。大学院進学後の学費や生活費を確保するために、給付奨学金にトライしたり、JASSOの奨学金を検討しよう。

本紹介 20. ジュディス・バトラー(竹村和子訳)『ジェンダー・トラブル』やっぱりバトラーはクィア・アイドル(アイドル化するなって話なんだけど)。難解な文章ではありませんが、性別二元論を軸に、身体や欲望、セクシュアリティを「異性愛のマトリクス」周辺に構築していく社会規範を見事に描き切った著作であると思います。パフォーマティビティ論など、クィア理論で出てくる重要な概念を知るために読んでもいいけど、わたしの読み方は、バトラーがどれだけ二項対立を嫌ってるか、すなわち、こう言ってよければ、「ノンバイナリー」的であるか、を楽しむということです。東京大学 TOPIA でも読書会計画中。

インタビュー: とある人の進学選択体験記

Interviewer: よたけ, Interviewee: きき(仮名)

※実話をもとに一部脚色をしています。

よたけ(以下、よ)「こんにちは。よたけです。今回は、東大の『進学選択』を利用して、文系の科類から理系の専攻に進学、つまり『理転』を経験した方、きき(仮名)さんに、対談の形でインタビューさせていただきます。個人インタビューによって、ひな壇や早押しボタンの置かれた台に大勢並べるよりも深く、東大生の実情に迫っていけるのではないかと思います。それでは、ききさん、宜しくお願いします」

きき(以下、き)「ききです。学部は入学時文科三類で、進学選択で生物系の学科に進学しました。現在東京大学の修士 2 年生で、母親の養育行動が、精神疾患の発症に伴ってどう変化するかと、その神経機構について研究しています。うちの研究室はやっていることが幅広いので、毎日妊娠したメスマウスの世話をしほっこり(?)したり、赤ちゃんを連れのお母さん相手に心理学実験をしたり、プログラミングソフトとにらめっこしたりと、忙しい日々を過ごしています」

よ 「へえ。結構理系チックな研究をされているんですね。大学入学前から、母子関係とか精神疾患に興味があったんですか？」

き 「いえ。高校生時代までは、結構興味が取っ散らかってましたね……。とにかく素数が好きだったので、数学者になってリーマン予想を解決してえなと思ったり、中学生の時に大病をしたので医者になってこの病気の治療法を見つけたいなと思ったり、パラドックスや宇宙の終焉の本読んで、自己言及の再帰性や 10^{80} 年後の未来に震えたり、図書館にあった勅撰和歌集をひっくり返して、『花』に関する和歌の変遷をまとめたり……」

よ 「ずいぶんいろいろやったんですね。でも、傾向としてはサイエンス分野が多いような気がします」

き 「まあそうですね。ただ、大学入学以前って、実験設備もないし、理論系でも体系的に自習するのって大変なので、本読んですげえって思う以外にできることがあんまりないんですね。最後に上げた和歌の話は、図書館に注釈付き原典があって、研究対象にじかに触れやすいので、結局それで地域コンクールに 6 年ぐらい連続で出して、それが一番長く続いたことだったんですね。それで、大学行っても和歌の分析とかやりたいなと思って、高校 2 年次には文系を選択しました。両親にも、国文学者になりたいってずっと言っていたと思います。当時は地元の国公立に進学しようと思っていたのですが(国文学ってどの大学にもあるし)、高校 2 年の夏にドストエフスキーの『罪と罰』を読んで衝撃を受けて、ロシア文学やロシア史を学べる東大を受験することに決めました。ロシアに浮気してなかったら、たぶん東大に行っていないと思う。自分のやりたい分野の学科や教員の有無って、大学選びにすごく大事ですよね」

よ 「そうですね。両親や先生は賛成してくれていたんですか？」

き 「まあね……。口では応援してくれていたのですが、その応援の仕方が形骸的だった気がします。母は「大学教員になったら好きな研究ができる(※大嘘)」という認識で研究者を推していたようだし、父は、文系で大学院まで行くと就職がないと思っていて、すごい作り笑いで「まあ、図書館司書にでもなればええやん」と宣ったり……。また、先生や同級生も、当時いた公立高校内では成績がよかったので、理系を選択しないことに驚かれたり……。そうした周りの人の対応に影響を受けて、文系で研究者になりたいのに、「文系は理系より下だ」という価値観を内面化していた気がします」

- よ 「環境からの圧力による自己嫌悪、恐ろしいですね……。その後、文科三類を受験して、合格したんですね」
- き 「はい。受験勉強がマジで辛かったので、入学したら好きなロシア史を思う存分勉強できるぞ！ と張り切っていました。ただ、1年生が取れる選択科目にロシア関連(ロシア語の語学の授業除く)が全然なくて絶望して、じゃあ苦手な人参から先に食べるか—という理論で理系の選択科目を多く履修しました。それで、生物系の科目を多く取ったところ、生物種同士の生存競争や、生物の進化に関する話(=進化生物学)に予想以上にハマって、秋学期も生物の授業をたくさん取りました」
- よ 「へえ。ロシアと生物学ってなにか関係するんですか？」
- き 「ルイセンコ……ではなく。もともと、ロシア文学やロシア史に惹かれたのも、同国が、誇大妄想(ゴーゴリ『狂人日記』)や幻覚(ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』)や知的障害・精神障害(中世ロシアで奇行をしながらキリスト教を布教した「聖愚者」)など、**精神疾患に関する描写が多かったからなんですよ**。僕は、人間がどのようにして不条理な思考に至るのかにすごく興味があって、その意味で、精神疾患を題材にした小説や歴史的事象をいろいろ読むのが好きでした。それで、**そうした人間の不条理について追求するのならば、文学作品を追うよりも、脳とか行動を実験によって見たほうが直接的なんじゃないか……**と思ひ、本格的に生物系の学科に進学しようと思いました」
- よ 「結構、確固たる意志があったんですね」
- き 「いや、それが……。僕の場合、結果として理系のアプローチに惹かれたけれど、仮に、「文献をゴリゴリ読んで研究したい」と思っても、大学院に行くための学費や生活費を、文系にとどまる限りは、両親は快く負担してくれないんだろうなと思っていました。だから、僕は理転を「選択」したというよりは、**生活の保障がない文系からの「逃走」をした**と言った方が正しいのかもしれないです。実際、2年生になってもロシア語(含むヨーロッパ言語)が好きすぎて、3年生の授業に潜らせてもらったり、他の外国語の教科書に5桁の額を費やしたりしたのですが、一方でそんな自分の行為を『悪』だと思っていました。本当は理転をするなら数学や物理を勉強するべきなんだけど、そうした『善行』から逃走する自分を責め続けていたり……」
- よ 「うわあ、悪しき二元論……。結構自習が多かったようですが、進振り点を上げることに関してはどうしていましたか？」
- き 「僕はロシア語の会話演習をたくさん取っていて、それはめっちゃ真面目に受けていたし先生も優しくかったので、ほぼ確実に90点以上を獲得ことができました。また、理転に向けて理系の選択科目を自学していたので、理系科目でも優を獲れていました。そのため、結果的に進振り点は高くなり、少人数制の人気学科も視野に入りました。ただ、精神疾患を研究するなら、やっぱり第一希望は医学部になるじゃないですか。文系から医学部への進学って、92点とか必要なんですよ。体感として、80点以上(大学で規定が決まっている上位三割以上)は努力で何とかなりそうだけど、90点以上(規定なし)の点数競争は完全に運の領域です。しかも、自分の進振り点を上げているものが生物学というよりも、履修科目の4割ぐらいいを占めるロシア語という……。**ロシア語頑張れば医学部に行けるかもなんて、因果律がねじれていると思います**。そうした、行きたい学科と関係ないところで成績が決まっていき、それに依じて進学できるかどうかが決まるというのでは、結局授業への頑張りは点数稼ぎの手段にしかならないと思います」
- よ 「そうですね。文三の一般的な進学先とは違う進振りをしたわけですが、同級生はどう思っていましたか？」

- き 「実は、僕のクラスでは、文系の難関学科(教養の国際関係論とか言語学コース)に行きたい人が異様に多くて、結果進振りに熱心なのはいいんですけど、点数を自慢しあったりするような文化があったんですよ。ロシア語の比重が多い1S終了時には結構いい点数が出ていたのですが、その話を友達にしたところ、「お前ともう話したくない」と言われ、辛かったです(あとで100回は話したけどね)。あとは、友達で、行く気がないくせに「俺は点数高いから医学部行くぜ」という定型句を吐く人がいたり……。こうした「点数がいい人が正義」という場所から逃げ出すために、俺たちは受験をしてきたんじゃないのか……と思いました」
- よ 「進学したい学科によっては、第二の受験戦争になりかねないわけですね。それで、結局、現在の学科に進学したんですね」
- き 「はい。ロシア語への未練を捨て去るのに、ここでは言えないような苦勞をしたわけですが、それは置いて……。僕が進学したのは、学際生物学コース(仮名)です。定員は20人ぐらいで、進振りの点数はあまり要求されない学科なのですが、そのぶん、理系出身だが必修の数学や物理が苦手だった人や、文系出身者へのフォローがしっかりしていることが、学科の説明会での話を聞いてわかりました。また、形式的ではあるけど副専攻制度があって、精神疾患を知るのに必要な、生物学(生物一般の神経細胞の仕組みなど)と心理学(ヒトの行動を実験的に計測する方法など)の両方を集中的に勉強することができ、さらに研究室も、精神疾患関連のものが2-3コあってよかったんですよ(他の学科は、指導してほしい先生が1人しかいなかった)。一個の研究室が肌に合わなくても、他の研究室を選ぶというリスクヘッジ(?)ができるので……。医学部も検討したのですが、説明会で「理三の諸君!(※どうして限定する?)ここに居る人の1割は留年するからしっかり勉強しろよ!」という発言があったので、同質性の高さに辟易して辞めました」
- よ 「おお……。多様性の許容度というのも、進学先を選ぶ上では重要ですね。進学後はどうでしたか？」
- き 「同じコースの人は、勉強へのモチベは個人差が大きいけれど、いい人ばかりでした。ただ、研究職をガチで目指している人が、お隣のコースを含めて3人しかいなかったのも、進学当初はその人たちとzoomで勉強会をしていました(コロナ禍で他の人と会えないし)。そこでも、数学や物理の理解度でマウントを取りあったり、そこまですりかかっても、zoomで交流会までするような人が、数学や物理コースの人の課題の相談会ぐらいしかなかったり、数理の知識を軸としたホモソーシャルな雰囲気にならないうまくなじめず、辛かったです。僕がこの学科内で「二級市民」なのは、数学という武器を持たないからなのか……。そう思って数学の自習を始めるも、必修の実験や卒業研究が忙しすぎてできず、不安からどんどん精神が不安定になっていきました。ストレスで、3年生秋から本が一冊も読めなくなり、学科に縛られず持てる、文系学問への接点が失われました(※去年は450冊ぐらい読んだのにね)」
- よ 「数学は科学の女王だけど爵位にはならないですよ……。まあでも、技術的に相当苦勞したんですね」
- き 「そうですね。結局、僕のやっている研究は、数学と言っても統計学しか使わないし、計算もプログラミングでやっているの、個々の統計手法の使い方さえわかれば、式がわからなくてもOK。物理は全く使わないし、言い忘れたけど、プログラミングも、基本的には先輩のコードを真似すればOKで、つまり、自習よりも学科の勉強にしっかりついていくことが大事だったんです。それがわかっていなかったですね。結局、卒業研究でも、ここでは言えないぐらいいろいろな苦勞をしました。研究者になりたいくせに、学部では研究が楽しいとは思えなかったけれど、修士2年生の今になって、やっと研究というプロセスの面白さが見えてきました。ネズミはかわいいし、グラフを出すのが楽しいし、研究のアイデアを妄想するだけで顔がにやけてくる……」

- よ 「いいですね……。結局、学科紹介などで語られるのは、授業や研究内容、進路状況といった静的な『パッケージ』だけれど、勉強の楽しさの本質は動的な『プロセス』であり、それは第一人称的にしか経験できない……。つまり、結局、進学してみなきゃわからないんですよ」
- き 「それな。あと、最近ストレスが減って本が読めるようになったので、学部生では興味がなかった社会学の視点から、精神障害やLGBTQ+に関して論じている本や、エッセイを読むことを趣味にしています。読みすぎて研究活動を圧迫している感はありますが、本という、学科に縛られない形で、専門としては選べなかった文系との接点を持てるのはすごく嬉しいです」
- よ 「そうですね。卒業後はどうされる予定ですか？」
- き 「研究者！（キリッ）」
- よ 「おお速答……」
- き 「やっぱり、精神疾患の研究って楽しくてしょうがないですもん。ただ、研究者のポストは少ないので、希望したって必ずしもなれるとは限りません。僕は修士の時点で顕著な実績がないので（ある人は少ないけれど）、博士課程で実績を積まないと詰んじゃうので、すごく不安です。ただ、精神疾患にかかわるのって、民間のボランティアでもできるし、支援団体や教育・福祉系の企業の就職とかもあり得るし、いろいろな道が開けていると思います。今の時点では、研究職 95%、そのほか 5%ぐらいですが、これから就職活動とかしていく中でわかってくるのかもしれないですね」
- よ 「ずいぶん楽観的ですね」
- き 「まあ。学部の経験で分かりましたから。悲観には大きなコストがかかるって」
- よ 「そうですね。では、最後に、進学選択をこれから体験することになる受験生に向けて一言を」
- き 「『optimal(最適)より optimistic(楽観的)であれ』ですね。進学選択において、『最適解』は一意に定まらないし、その必要もないので、まあなんくるないべっちょないと思うしかしょうがないですね。進学選択は、自分が進路を能動的に「選ぶ」のではなく、環境からはたらきに応じてなんとなく「選ばされる」ものなのだと思うのが一番です」
- よ 「いいですね。本日は貴重なお話、ありがとうございました。受験生の皆さんの参考になれば幸いです」

小論考 産学複合体——受験・就活・能力主義の結託

執筆者:h

大学に入ってから、フェミニズムというのを知り、クィア理論というのを知った。活動や運動だけが可能なのではなくて、社会の規範に対して異を唱える方法は理論にもあるということを知った。規範は、決して一つだけ存在するものではない。権力の体制を維持するために、それぞれがさまざまところで結託し合う関係にあり、私たちはそれを見抜く力を持たなくてはならない。

ところで、こうしたことを考えることができるようになったことも、私にとっては、ひとえに大学に入ったという単純な事実が、実に大きな意味を持っている。つまり、大学に入るまでの自分とか、そういうものも、大きな意味を持っているはずだ。しかし、大学以前のことについて、私はしっかり考えてきただろうか？

大学以前の世界——多くの人にとって、それは「**受験**」と呼ばれる業界と関わっている。私のように、大学受験がほぼ初めての受験であった人にとっては、受験とは高校時代の数年間の思い出に過ぎないが、人によっては、小学校に上がる前から始まるような人生の壮大な一部分である。大学生になるためには、かならず「受験」を経験する必要がある。あの、総力をかけて戦わなくてはならないような、壮絶な「受験」を、である。「受験」を前提とする「大学」とは、そこでの学びが人生にとって根本的に重要な意味を持つような、人生を変えるきっかけになるような、本来の自分に巡り合うための初めての機会となるような、そういった場所を求めるすべての人々にとって、本当に開かれたものなのだろうか。

「受験」は、能力にしたがって、すべての受験生を「公平」に序列化し、大学への入学を順に許可するという制度である。しかし、本当にこの前提は正しいのだろうか。

- 第一に、受験の世界は、どのような高校に入るか、どのような一貫校に入るか、どのようなキャリアを歩んできたか(第一言語は日本語で、日本の教育を受けてきたか、内申点は十分か、など)といった、**事前の変数**に多くを握られている。
- 第二に、受験の世界は、塾や予備校を中心とする、**資本主義**的な仕組みに支配されており、経済的な問題が色こく存在している。
- 第三に、受験が受験生に求める学習内容は、はっきりいってテストの形式に大きく左右されるものになってしまっており、テストに対する習熟度を高められるかどうか、という**学業の本質とはズレた点での評価基準**が用いられている。
- 第四に、受験生は**能力主義**的な価値観に迎合することを求められており、「できる」「できない」の基準を内面化することだけではなく、「いつもできる」「常に努力を惜しまない」(場合によっては、「金と時間も惜しまない」)というスローガンを内面化しなくてはならなくなっている。

大学での「学び」について考えようとするすべての人は、真剣に、受験の世界にある問題を直視すべきである。アメリカ合衆国における黒人差別が、監獄ビジネスと結託して新たな展開を見せていることを、黒人フェミニストのアンジェラ・デイヴィスは「産獄複合体」と呼んで批判したが、「産学複合体」とも呼ぶべき複雑怪奇極まる権力体制が、今まさにここ日本で、あなたの目の前にあるのだ。

さらに、私はここに大学生の多くが直面する能力主義の世界——すなわち、「就活」の世界の問題を付け加えたい。大量の人材を数値化し、書面化し、基準によって測ることを正当化する就活は、間違いなく、人間の不当な値踏みと、権力関係への従属を正当化することに、一役買ってしまっている。ハラスメントが正しく撲滅されることなく、蔓延し続ける現状を直視せよ。性暴力が告発されても、変化しないばかりか正しく報道しようもしないメディアの現状を直視せよ。人間を一級と二級に分類し、権力関係に巻き込むための手立ては、世の中に嫌というほどたくさん用意されている。繰り返すが、私たちはそれらを、きちんと骨の髄まで見抜いてやらなくてはならない。

きっと、私たちはみんな、どこかで何か「おかしい」とわかっている。私たちは、こうしたことにまったく無知なのではない。むしろ、知り過ぎているのだ。みんな、もしかしたら気づいているのかもしれないけれども、何も言い出してはいないということ。言っている人が周りにいないのだから、おそらく現状は、つらくとも耐えるのが自然であるのだということ。自分は周りの人と多分似ているのだから、それでいいのだということ。「おかしい」ことをはっきりと声に出して糾弾することは、文化として自然ではないということ。声高に何か主張することは、各所から誤りを指摘されたり、恥ずかしい思いをさせられたりするのだということ。残念ながら、これらはすべて正しいかもしれない。それでも、現状を、少し遠くから見ることを可能にする理論や考え方を手元に置いておくことは、少なくとも助けになってくれる。

その考え方とは、こうだ。私たち、日本の大学に進学しようとする人は、「受験」世界に参入し、その中でのみ生きることを強制されてきた。したがって、資本主義や能力主義から離れることが非常に難しくなっている。私たちは、「自然」に大学生を目指し、その後の人生を思い描こうとするだけで、「～ができる」ということで自分を把握するやり方や、お金や時間を使って何かを手に入れるという考え方を、当然のものとして内面化することになってしまっている。私たちには、そうではない考え方が必要だ。規範から離れるための、第一歩としての想像力が必要だ。それは、こうした現状を批判的に考えることから始まる。

喜ばしいことに、大学とは、批判的な思考に開かれた場所である。悲しいことは、大学にいる人のほとんどが、受験産業や就活産業の問題を、真面目に、正面から取り扱おうとしていないことだ。受験世界を生きるしかない受験生たちは、本当にあれほどの規範への従属を求められなくてはならないのだろうか。私には、それは壮大な「子どもの教育」=「国家や市場、社会、家庭の要請に適合する人材の育成、矯正」の一部にしか思えない。

hの queer で feminist で anarchist で nonbinary な私設本棚

ここまでのページの本文右側に載せていたおすすめ本を、ここでもまとめて紹介します。

執筆者:h

1. ジュディス・バトラー(竹村和子訳)『ジェンダー・トラブル』 やっぱバトラーはクィア・アイドル(アイドル化するなって話なんだけど)。難解な文章ではありますが、性別二元論を軸に、身体や欲望、セクシュアリティを「異性愛のマトリクス」周辺に構築していく社会規範を見事に描き切った著作であると思います。パフォーマンスティヴィティ論など、クィア理論で出てくる重要な概念を知るために読んでもいいけど、わたしの読み方は、バトラーがどれだけ二項対立を嫌ってるか、すなわち、こう言ってよければ、「ノンバイナリー」的であるか、を楽しむということ。東京大学 TOPIA でも読書会計画。
2. ジョアン・C・トロント(岡野八代訳著)『ケアするのは誰か?』 ケア論をベースに新しい民主主義のかたちを論じる。公私二元論解体を論じる岡野さんの論考も非常に興味深い。
3. キム・ジヘ(尹怡景訳)『差別はたいてい悪意のない人がする』 差別発言をした政権の人物が、「誤解を招く発言をして〜」などと意味のわからないことを言ってことをうやむやにするこの国で、マ
4. 高井ゆと里『ハイデガー 世界内存在を生きる』 人生の中でも一番くらい良かった本。『存在と時間』の説明としても、今までのどんな入門書よりも読みやすいし、説明の中に自然とフェミニスト的・ノンバイナリーの・トランスジェンダー的な記述が含まれているのが素晴らしい。
5. サラ・アーメッド(飯田麻結訳)『フェミニスト・キルジョイ』 アー



メッドは、フェミニズム理論と日常を結びつけ、感覚的な文章を書くのが上手な人。声をあげると迷惑な人だと思われること、少女が「わがまま」だと思われること、声をもてないこと、そうした状況に、どのような情動を喚起されるか、など。

6. ベル・フックス(堀田碧訳)『フェミニズムはみんなのもの』第二波フェミニズムと呼ばれる潮流のいいところが詰まった本。コンシャスネス・レイジング、身体の自律性、美、階級闘争、人種、暴力、男らしさ、育児、結婚とパートナー関係、レズビアン、スピリチュアリティなど。

7. 高島鈴『布団の中から蜂起せよ』アナーキズムとフェミニズムが軸。p.169 からの「ゆるい合意で～」が一番好き。「愛」や「文化」という曖昧かつ重厚なもので全てを丸め込もうとする暴力に、どのように抗うか。わたしの A ロマンティックネス の一部。アナーキズムを教えてくれた本でもある。

8. 三木那由他『言葉の展望台』言語哲学の枠組みや、例としてだされる状況設定そのものに異議申し立てを行いながら、より日常に近づけた形で言語哲学を実践し、思考したエッセイ。差別と意図の関係について触れている箇所や、トランスジェンダーとしての話題

にも触れられていて、非常におすすめの本です。

9. ショーン・フェイ(高井ゆと里訳)『トランスジェンダー問題』東京大学 TOPIA で読書会も行いました。トランスが直面する問題は、トイレや浴室といったよく「議論」されるスペースの問題や承認の問題だけでなく、経済的解放の問題です。トランスの抑圧の根の大部分は資本主義にあり、誰かが失業状態であることを必要とする資本主義体制で、人種、階級、ジェンダー、障害を通じた印付が行われている以上、他のマイノリティ運動と同じ点が目標となるのです。また、警察や国家、刑務所による暴力を問題にする廃止主義(abolition -ism)も、この本を通じて知る人が多いかも。トランスの「問題」を考える上で、今後外せない本です。

10. 吉野鞆『誰かの理想を生きられはしない』医療や法律が強大な権威者・権力者となって、トランスの身体の自律性を奪い続けていることは各国で共通している。特に日本では、2003 年特例法の成立を通じていわゆる GID (性同一性障害) 規範ができあがった。日本の GID 規範について知るのに適した本。

11. 竹村和子『愛について』伝説の書。異性愛主義と植民地主義

の結託や、母と娘の絆の喪失について。好きな文を引用。「女同志の愛は、異性愛主義の言語によって当事者の手から引き離され、男の覗き見的な視線によって植民化されて、性差別の言語のなかに取り込まれていくのである」(78)。亡くなってしまったのが非常に悲しいけど、理論は最良のエンパワメント。

12. 和泉真澄・坂下史子・土屋和代・三牧聖子・吉原真里『私たちが声を上げるとき』女性やノンバイナリーのリーダーや発言者たちが、アメリカの社会や政治を糾弾するため、どのように声を上げてきたのか。あるいは、その声が聞かれなかったのか。インターセクシュナリティについて学びたい人も、おすすすめ。

13. エリス・ヤング(上田勢子訳)『ノンバイナリーがわかる本』表紙が可愛い！ ノンバイナリーの人たちについて or 自分について知るにはもってこいの本。ノンバイナリー=反二項対立性に関しては、別の本がいいかも。

14. ジュリー・ソンドラ・デッカー(上田勢子訳)『見えない性的指向 アセクシュアルのすべて』表紙が可愛い！(2) 副題にある「見えない性的指向」が本来のタイトルで、A スペクトラムは「見えない」ことに最大の特徴がありま

す。A ロマンティックについての情報はもっと欲しい。ドラマ「恋せぬふたり」の劇中でも実は登場していました。

15. 上野千鶴子『女ざらい 日本のミソジニー』『家父長制と資本制』のような学術的な仕事だけでなく、退官記念講義などでも言葉にキレがあり、読みやすく面白い。この本も、日本の様々な場所で現れるミソジニーを(深入りせずに)拾い上げていくスタイルで、日本特有の抑圧の状況について考えたりするときにヒントがあるかも。

16. チェ・スンボム(金みんじょん訳)『私は男でフェミニストです』フェミニズムとは「性にもとづく差別や搾取や抑圧をなくす運動」(バル・フックス)であり、男性だって当然正当化つ必要な担い手です。韓国の高校の教師であり、フェミニズムを学校教育に取り入れる様子、またその際の自身の変容を紹介しています。

17. チョン・セラン(斎藤真理子訳)『フィフティ・ピープル』韓国文学の面白い点は、言葉や人々の雰囲気は決して日本と離れていないのに、社会や政治の変化が早くて、文学にもそれが表れていること。資本主義や権威主義、ミソジニーや暴力といった社会全体の災害に対して、どのように連

帯するか。文学でしか描けないものがここにある、と強く感じました。

18. チョ・ナムジュ、チェ・ウニョン、キム・イソル、チェ・ジョンファ、ソン・ボミ、ク・ビョンモ、キム・ソンジュン(斎藤真理子訳)『ヒョンナムオッパへ 韓国フェミニズム小説集』恋愛や家庭関係についての小説から始まり、後半はSF系的小説が収録されている。チョ・ナムジュさんは『82 年生まれ、キム・ジョン』で著名な作家で、7 名の作家が「フェミニズム小説集」として短編を寄せたもの。斎藤真理子さんの翻訳も秀逸。個人的にはチェ・ウニョンさんの描く母娘関係が「これ読みたかったやつや」となった。

19. ヴァージニア・ウルフ(片山亜紀訳)『自分ひとりの部屋』精神を含めて女性が解放されるためには、500 ポンドの年収と自分ひとりの部屋が必要だ、と書きます。可視性や承認だけではなく、経済的解放が根本的に重要。

20. ヴァージニア・ウルフ(丹治愛訳)『ダロウェイ夫人』1920 年代のロンドン。クラリッサがパーティを開くたった1日を描いた小説。権威や帝国、軍、死、同性愛の失敗などが、ビッグベンの鐘が鳴るのと同じように、常に鳴り響くような描写がなされています。

分身であるセプティマスに、わたしはクイアネスを感じる。

21. ジョルジョ・アガンベン『ホモ・サケル 主権権力と剥き出しの生』フーコーの「生 - 政治」(biopolitics)議論を、「例外状態」(「緊急事態」)における人間の身体の扱われ方の議論に敷衍し、現代の難民や絶滅収容所などで身体の自由が犠牲化可能になっていう原因を近代政治体制の構造的問題として追及する。

東京大学TOPIA 春休み読書会祭

大学生の方も、そうでない方も。
本を通して、自分たちの「集まり方」や
運動のあり方について、
一緒に話し、考えませんか？

声出し・顔出し無しOK。仮名OK。
自分にとって一番楽な参加の方法で大丈夫です。
参加希望の方は、ぜひご連絡ください。



① 『「地方」と性的マイノリティ』
(杉浦郁子 / 前川直哉)
2023年3月6日 (月曜) 21:00~

② 『「社会」を扱う新たなモード』
(飯野由里子 / 星加良司 / 西倉実季)
2023年3月16日 (木曜) 21:00~

③ 『布団の中から蜂起せよ』
(高島鈴)
2023年3月26日 (日曜) 21:00~

読んできても、読んでこなくてもOKです。話したい参加者が、
気になった部分を抜粋して読み、感想を共有していきます。